

総社市における南米系定住外国人の 言語生活実態調査報告書

総社市 市民環境部

人権・まちづくり課 国際・交流推進係

平成 24 年 7 月

はじめに

総社市には、三菱自動車を中心とした自動車部品工場が集積した地域があり、1990年の出入国管理及び難民認定法改正以降、日系ブラジル人をはじめ多くの外国人労働者が雇用されていました。外国人労働者の多くは非正規雇用等の不安定な就労状況にありましたが、2008年秋のリーマン・ショックに端を発した経済危機により多大な影響を受け、その多くが解雇されました。

市はこうした事態を受け、2008年12月に解雇された日系ブラジル人等の相談窓口として、商工観光課内に2名のブラジル人通訳を配置し、雇用に関する相談業務を行ってまいりましたが、解雇に起因する問題は就労問題だけに留まらず、住宅、医療、保険、教育など日常生活全般に関して複雑多岐に及んでいました。

そのような状況の中、2009年4月、外国人市民の生活全般に関わる自立支援を行う目的で人権・まちづくり課内に国際・交流推進係を新設し、「国籍を超えた多文化共生のまちづくり」をキーワードとする多文化共生施策に重点的に取り組むこととしました。

係設置直後から、外国人市民との顔が見える関係づくりを目指し、日本人との交流機会の創出やきめ細かな相談業務を行っているため、外国人コミュニティ等を介して市での相談窓口の情報も広まり、現在では市内・外からの相談件数が、一か月に100件を超えています。一方、相談内容は、更に根深く複雑多様化していることから、今後は、市をはじめ、国や県の各種専門機関との連携、市職員や地域住民の外国人に対する多文化（国際理解）教育など体制整備を含め取り組む必要性があります。

外国人支援を始めた当初、その多くは行政窓口等でのコミュニケーション支援でした。本市には、比較的長く日本に住んでいる南米系の定住外国人が多いのが特徴ですが、雇用期間中は派遣会社の通訳に頼っての生活に慣れていたため、窓口で日本語を問題なく話すことができる外国人市民はごく少数でした。このような状況の中、外国人市民から「日本語を学びたいんだけど、近くに学ぶ場所が無い」、「総社市に日本語教室がもっとあればいいのに」という意見等が多く寄せられるようになりました。事実、総社市内には国際交流協会がなく、その当時、小規模な日本語教室が1箇所のみであったため、早急に体制を整備する必要性を感じました。

国での日本語教育の推進体制の整備や日本語習得機会の保障などの具体的な制度設計が急がれる中、地域に暮らす外国人市民と直接的に関わる市役所として、責任を持って外国人の日本語教育施策に取り組む必要があること、そのためには地域での日本語教育を実際に行い、その問題点を把握すべきではないか等の検討を重ねました。その結果、市を事業主体とする日本語教室を開設することとしました。また、地域で日本人市民と共に暮らしていくために、日本語の学習を必要とする外国人市民のサポートを行う人材の育成を目的としたボランティア養成講座も併せて開設することとしました。

平成 22 年度から、文化庁「生活者としての外国人のための日本語教育事業」の委託を受け、外国人市民のための日本語教室を開講していますが、教室運営を行う中で、新たな問題が浮上してきました。外国人市民が継続して日本語学習を行うことが難しいこと、日本語の習得が思うように進まないこと、日本語のレベル差が大きく目標設定がしにくいこと、また、日本語教室へのニーズの多様性など、今後の日本語教室の方向性や、地域における日本語教室のあり方を見つめなおす必要性に迫られました。

このような中、総社市日本語教室運営委員である岡山大学大学院社会文化科学研究科・中東靖恵准教授より、日本語教室の主な対象者である南米系定住外国人を対象に実態調査を行い、日常生活における言語使用や日本語学習の状況、日本語によるコミュニケーションの問題も含め、地域社会で生活する上で定住外国人が抱えるさまざまな問題の実態を把握する必要があるのではないかと提案が行われ、総社市に暮らす南米系定住外国人への言語生活実態調査を実施することとなりました。

日本語教育に関する社会情勢が刻々と変化する中、外国人市民を地域社会に受け入れていく際に避けては通れない言語問題、コミュニケーション問題をいかに解消していくかについて、実際に地域での日本語教育の現場を通じて考え、外国人支援の一環として当市の多文化共生施策に役立てていきたいと思っております。

最後になりましたが、本実態調査の実施にあたり、ご協力いただきました中東靖恵准教授をはじめ多くの方々に心からお礼申し上げます。

平成 24 年 7 月

総社市市民環境部人権・まちづくり課国際・交流推進係

目 次

はじめに	1
1. 総社市に暮らす外国人	4
2. 総社市における南米系定住外国人の言語生活実態調査の概要	6
3. 調査の結果	7
【1】属性	7
【2】来日前の言語生活	11
【3】職場での言語生活	18
【4】家族・友人との言語生活	22
【5】地域社会での言語生活	26
【6】現在の日本語能力意識・日本語学習状況	29
【7】現在および今後の生活	35
【8】子育て・子供の教育	39
【9】行政に対する要望	41
資料：ポルトガル語版調査票	46

1. 総社市に暮らす外国人

総社市の外国人登録者数は、平成24年4月1日現在787人であり、総人口67,580人の1.16%を占めている。国籍別では、ブラジル人が最も多く349人、次いで中国人236人となっている。その他、朝鮮・韓国、フィリピン、ペルー、インドネシア、ベトナムと少数だが登録されており、合計21カ国の外国人が登録されている（表1）。

総社市は、岡山県内でブラジル人が多く住む市となっている。ブラジル人は、日系人やその家族が多く、平成2年の出入国管理及び難民認定法の改正以後急増している。しかしながら、平成20年の経済状況の悪化に伴う、派遣切り等の問題により、外国人登録者は減少に転じている（次頁グラフ1）。

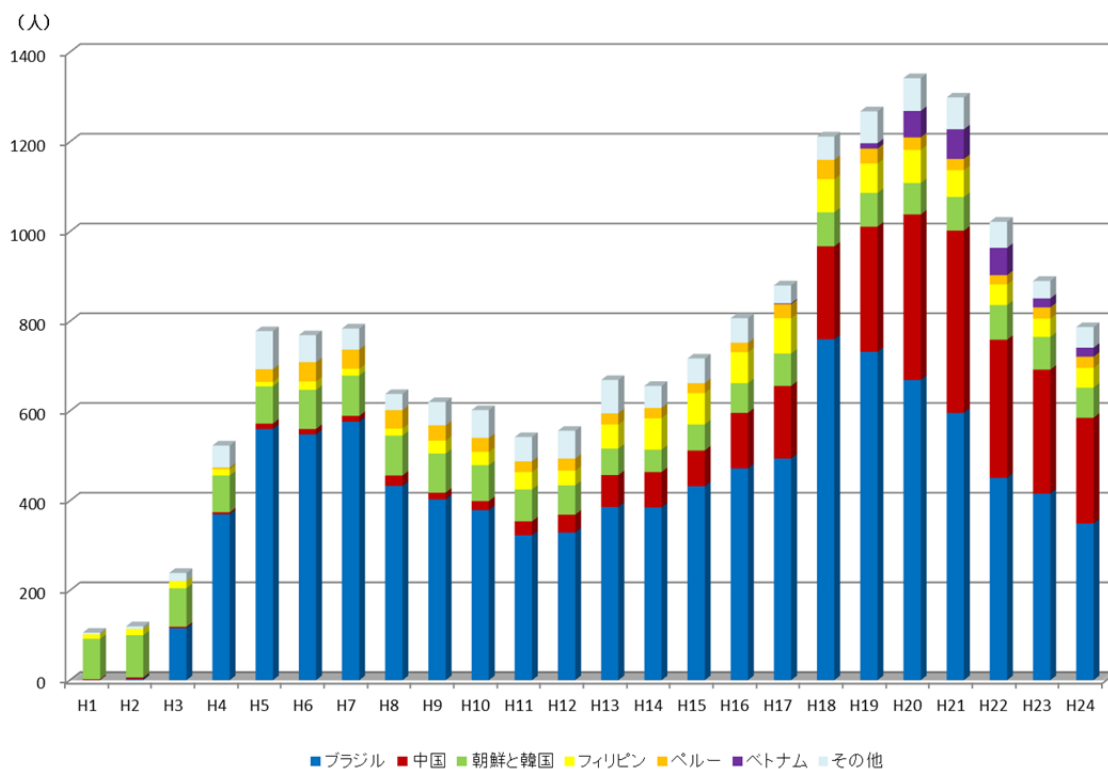
在留資格別に見ると、ブラジル人を中心とした南米出身者は「定住者」又は「永住者」及びその配偶者がほとんどで、中国人は、ほぼ3年で帰国する「技術実習」がほとんどである（表2）。

国籍	登録者数(人)	構成比(%)
ブラジル	349人	44.3
中国	236人	30.0
朝鮮・韓国	67人	8.5
フィリピン	44人	5.6
ペルー	25人	3.2
インドネシア	22人	2.8
ベトナム	20人	2.5
その他	24人	3.0
計	787人	100.0

【表1 国籍別外国人登録者数】(H24.4.1現在)

在留資格	登録者数(人)
永住者	298人
定住者	117人
日本人の配偶者等	74人
永住者の配偶者等	9人
特別永住者	41人
留学	12人
人文知識・国際業務	13人
技能実習(1・2号)	192人
その他	31人
計	787人

【表2 在留資格別内訳】(H24.4.1現在)



【グラフ 1 総社市における外国人登録者数の推移】
(各年度 4 月 1 日)

なお、外国人支援をはじめとする総社市の多文化共生施策については、総社市役所ホームページを参照されたい。

http://www.city.soja.okayama.jp/kankyo_machidukuri/tabunkakyousei/tabunka_iinkaiei.jsp

2. 総社市における南米系定住外国人の言語生活実態調査の概要

(1) 調査対象者：

岡山県総社市に居住する 16 歳以上の南米系外国人(ブラジル, ペルー, アルゼンチン) 全員

(2) 調査期間：

2012 年 2 月 1 日～3 月 31 日

(3) 調査方法：

ポルトガル語・スペイン語による調査票を送付・回収する郵送法（自記式）

(4) 調査項目：

- 【1】 属性
- 【2】 来日前の言語生活
- 【3】 職場での言語生活
- 【4】 家族・友人との言語生活
- 【5】 地域社会での言語生活
- 【6】 現在の日本語能力意識・日本語学習状況
- 【7】 現在および今後の生活
- 【8】 子育て・子供の教育
- 【9】 行政に対する要望

に関する計 63 項目。

(5) 調査の実施：

調査の設計・調査項目の選定は、総社市日本語教室運営委員・中東靖恵准教授が行い、調査票の送付・回収は総社市市民環境部人権・まちづくり課国際・交流推進係が行った。

(6) 調査票回収数：

67 票（調査票送付数：278 票¹，回収率 24.1%）

¹ 調査票完成時（2011 年 12 月 1 日）における南米系外国人登録者数は、ブラジル：385，ペルー：23，アルゼンチン：1，パラグアイ：0，ボリビア：0，チリ：0（合計 409）である。このうち、住所不明や転居等の理由により、実際に送付できた調査票数が 278 票となる。

3. 調査の結果

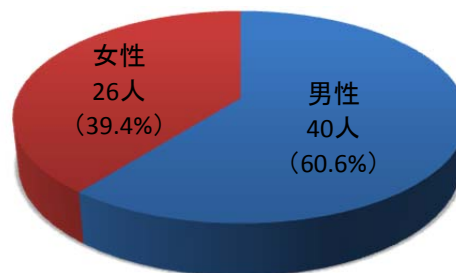
回収された 67 票のうち、ポルトガル語調査票が 66 票、スペイン語調査票が 1 票（国籍：ペルー）であった。スペイン語調査票の回収率が低いため、以下では、ポルトガル語調査票のみの結果を提示することとする。

【1】属性

回答者の 8 割以上が日系ブラジル人（2 世か 3 世）であり、ブラジルでも、日系人がとりわけ多く暮らすサンパウロ州・パラナ州出身者である。だが、そのほとんどが、母語は「ポルトガル語」であると回答している。年齢的には、40 代以上が回答者の約 7 割を占める。ブラジルで教育を受けた後に来日した人が大半だが、中には幼少期に来日し、日本の小・中学校で教育を受けた経験を持つ若年層もいる。回答者の半数が総社市在住歴 10 年以上であり、約 2 割が持ち家を所有しており、今後の定住化傾向が窺える。

(1) 性別 (N=66)

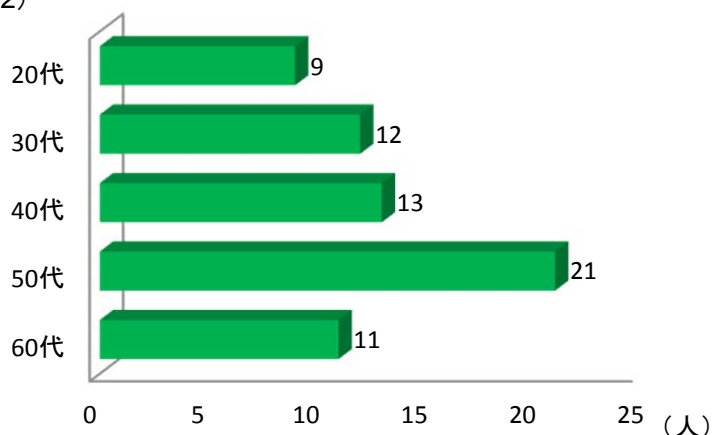
	人数	%
男性	40	60.6
女性	26	39.4



(2) 生年・年齢 (N=66)

1944 年生まれ（68 歳）～1990 年生まれ（21 歳）

平均年齢：46.5 歳（SD=12.52）



(3) 国籍 (N=66)

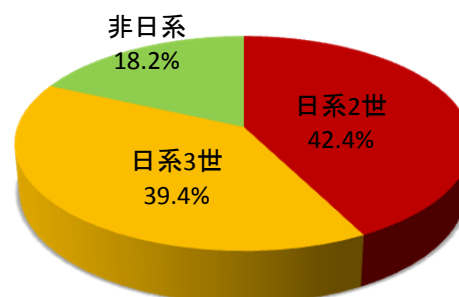
全員、ブラジル

(4) 生まれた場所はどこですか？ (N=63)

	人数	%
サンパウロ州 (SP: São Paulo)	33	52.4
パラナ州 (PR: Paraná)	24	38.1
ミナス・ジェライス州 (MG: Minas Gerais)	3	4.8
マツグロソ州 (MT: Mato Grosso)	1	1.6
マツグロソ・ド・スル州 (MS: Mato Grosso do Sul)	1	1.6
リオグランデ・ド・スル州 (RGS: Rio Grande do Sul)	1	1.6

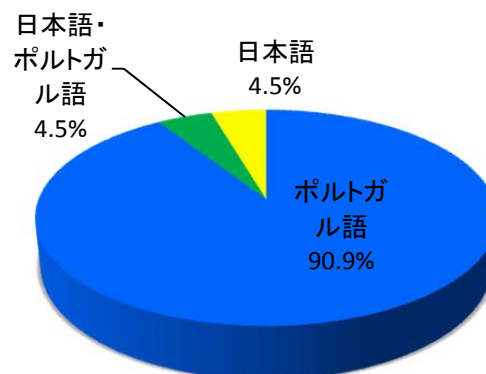
(5) あなたは日系人ですか？ (N=66)

		人数	%
日系	2世	28	42.4
	3世	26	39.4
非日系		12	18.2



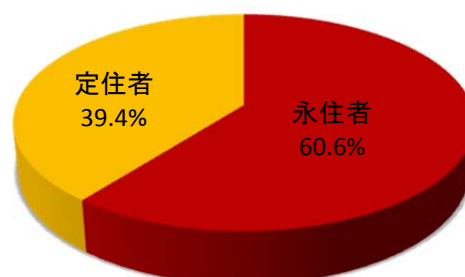
(6) あなたの母語は何ですか？ (N=66)

	人数	%
ポルトガル語	60	90.9
日本語・ポルトガル語	3	4.5
日本語	3	4.5

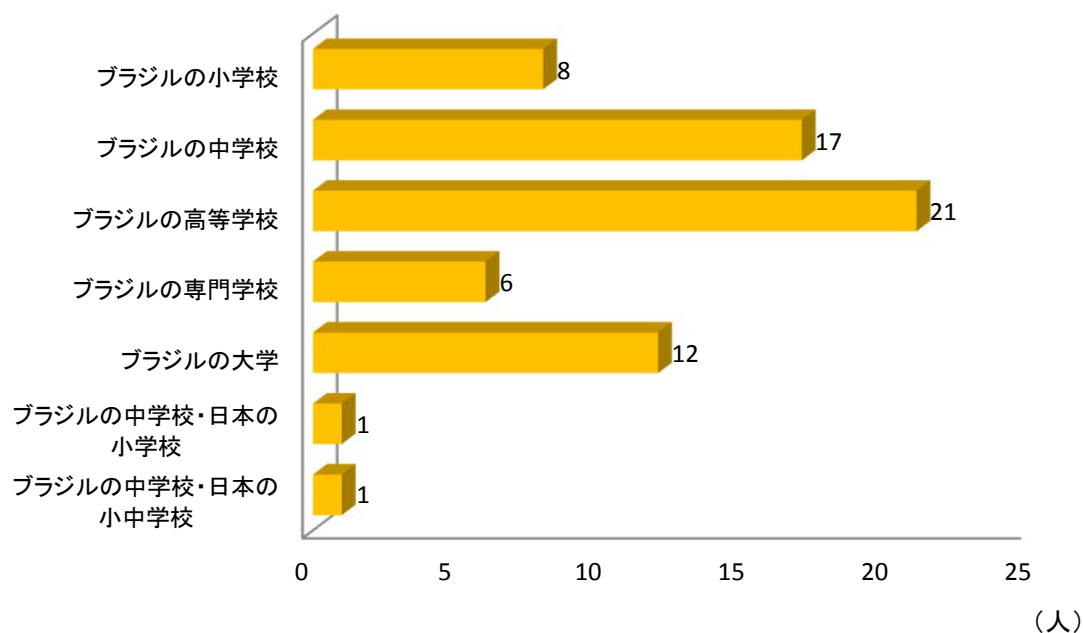


(7) あなたの在留資格は何ですか？ (N=66)

	人数	%
永住者	40	60.6
定住者	26	39.4

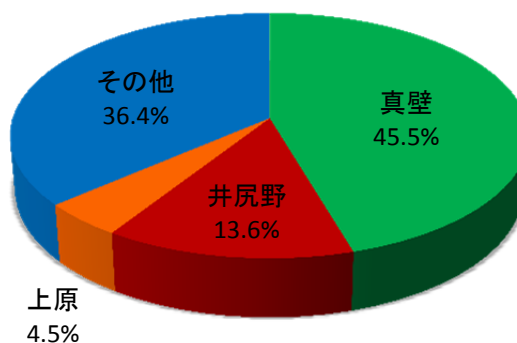


(8) あなたが最後に出た学校はどこですか？ (N=66)



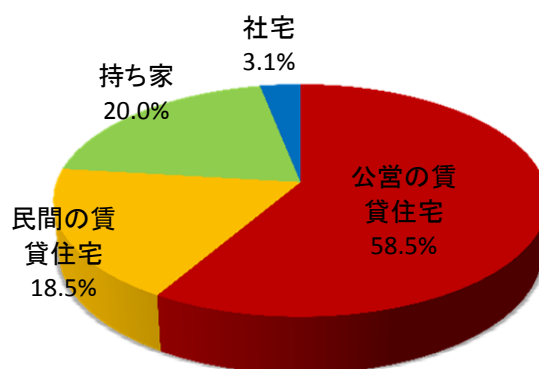
(9) 現在、総社市のどの地区に住んでいますか？ (N=66)

	人数	%
真壁	30	45.5
井尻野	9	13.6
上原	3	4.5
その他(中原, 総社, 中央, 溝口, 駅前など)	24	36.4

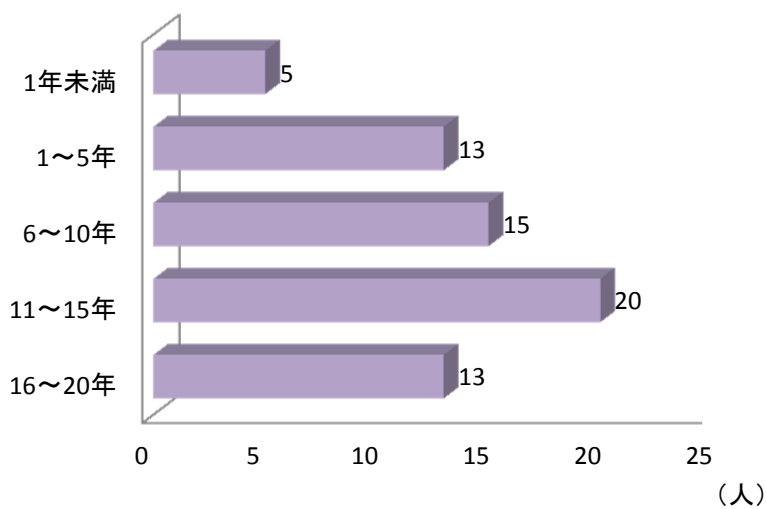


(10) 現在のあなたの住居はどれに当たりますか？ (N=65)

	人数	%
公営の賃貸住宅	38	58.5
民間の賃貸住宅	12	18.5
持ち家	13	20.0
派遣会社や勤務先の社宅	2	3.1



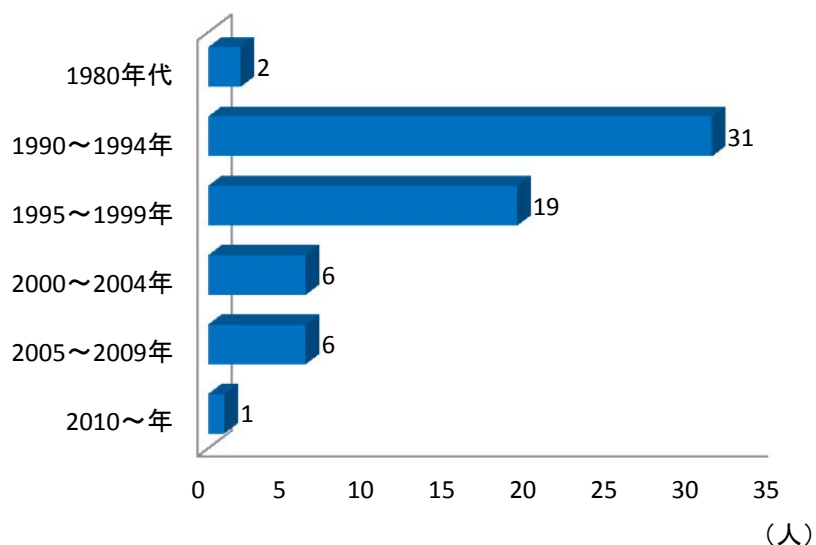
(11) 総社市には何年住んでいますか？ (N=66)



【2】来日前の言語生活

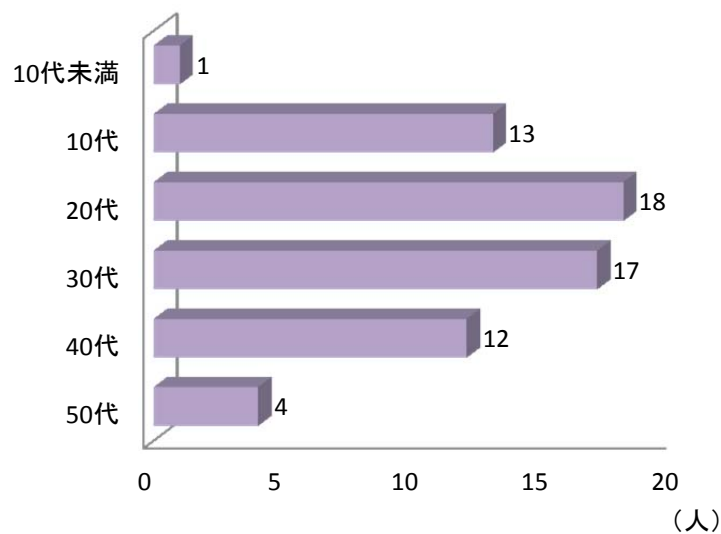
回答者の約8割が、就労目的で、入管法が改正された1990年からの10年間に来日し、日本在住歴は10年を超える。だが、来日当初は1～3年程度の短期間で帰国するつもりであったという人が多い。来日前のブラジルでは、日系人の多い地域に居住していた人が約7割に上るが、その多くが、日本語を使う機会も、日本語メディア（日本語のテレビやビデオなど）と接触することもまったくなかったという。来日前に、日本語学習経験があると答えた人は約3割に留まり、来日前には日本語ができなかったという人が大半である。

(12-1) 日本に初めて来たのはいつですか？ (N=65)



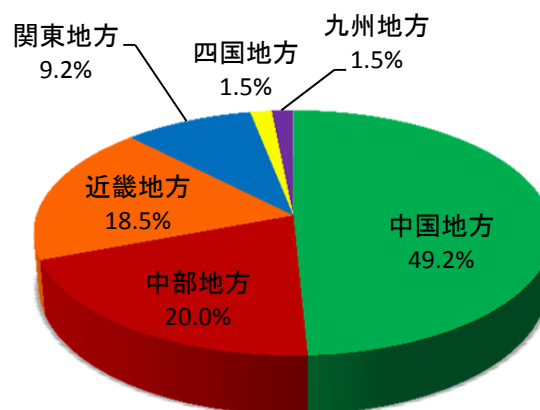
(12-2) 来日年齢 (N=65)

7歳～56歳。平均来日年齢：30.7歳 (SD=12.27)

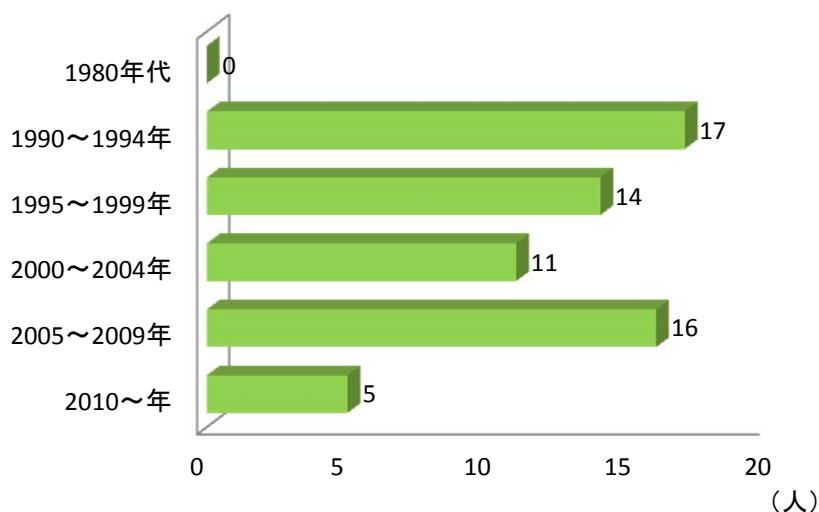


(12-3) 日本に初めて来た時、日本のどこに来ましたか？ (N=65)

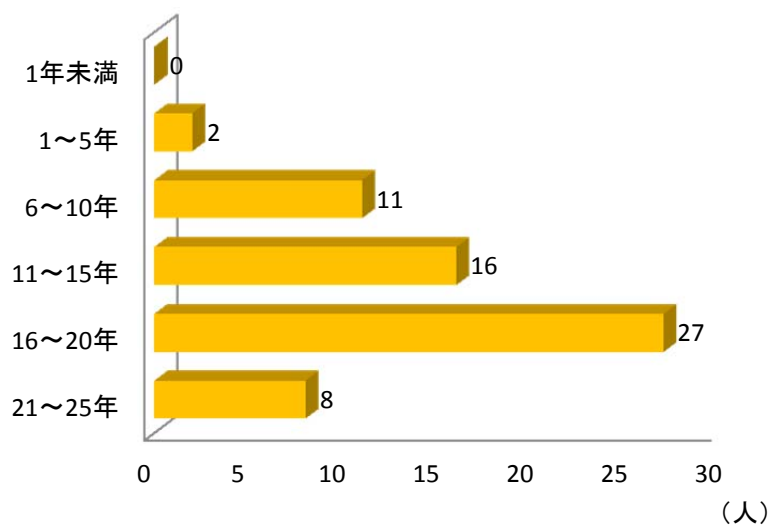
	人数	都道府県別内訳
中国地方	32	岡山(28), 広島(4)
中部地方	13	愛知(6), 岐阜(3), 山梨(3), 静岡(1)
近畿地方	12	兵庫(6), 和歌山(3), 滋賀(1), 大阪(1), 京都(1)
関東地方	6	千葉(2), 埼玉(1), 東京(1), 神奈川(1), 茨城(1)
四国地方	1	香川(1)
九州地方	1	熊本(1)



(13) 総社市に初めて来たのはいつですか？ (N=63)



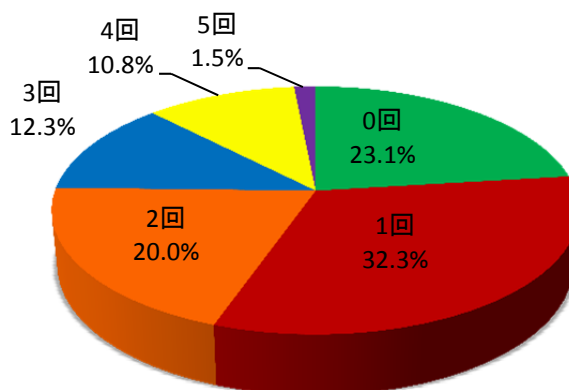
(14) 日本には通算何年住んでいますか？ (N=64)



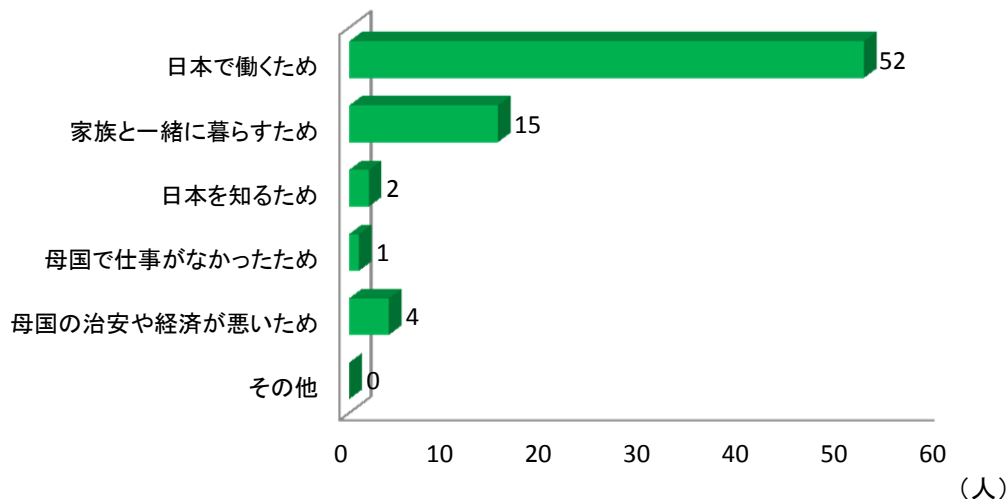
(15) これまで日本国内で住んだ場所とだいたいの期間を教えてください。(N=65)

(以下では、転居回数のみ提示)

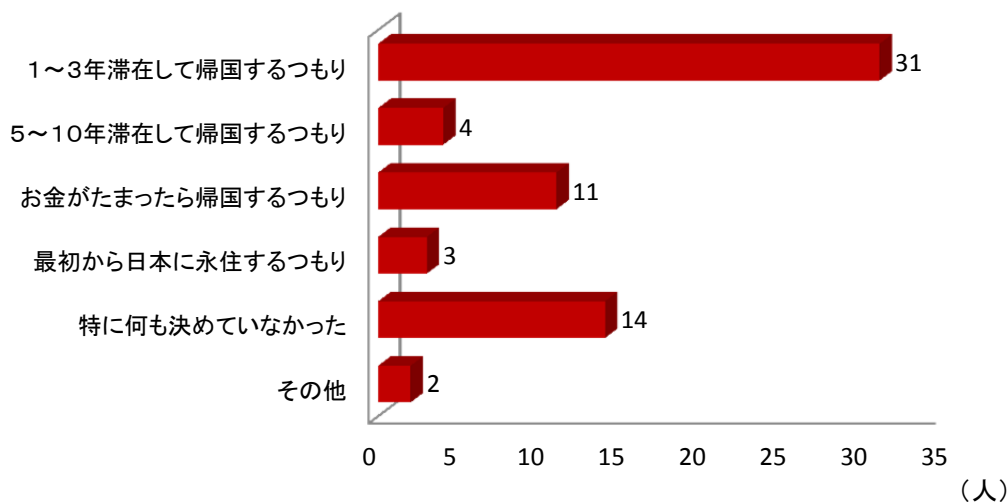
	人数	%
0回	15	23.1
1回	21	32.3
2回	13	20.0
3回	8	12.3
4回	7	10.8
5回	1	1.5



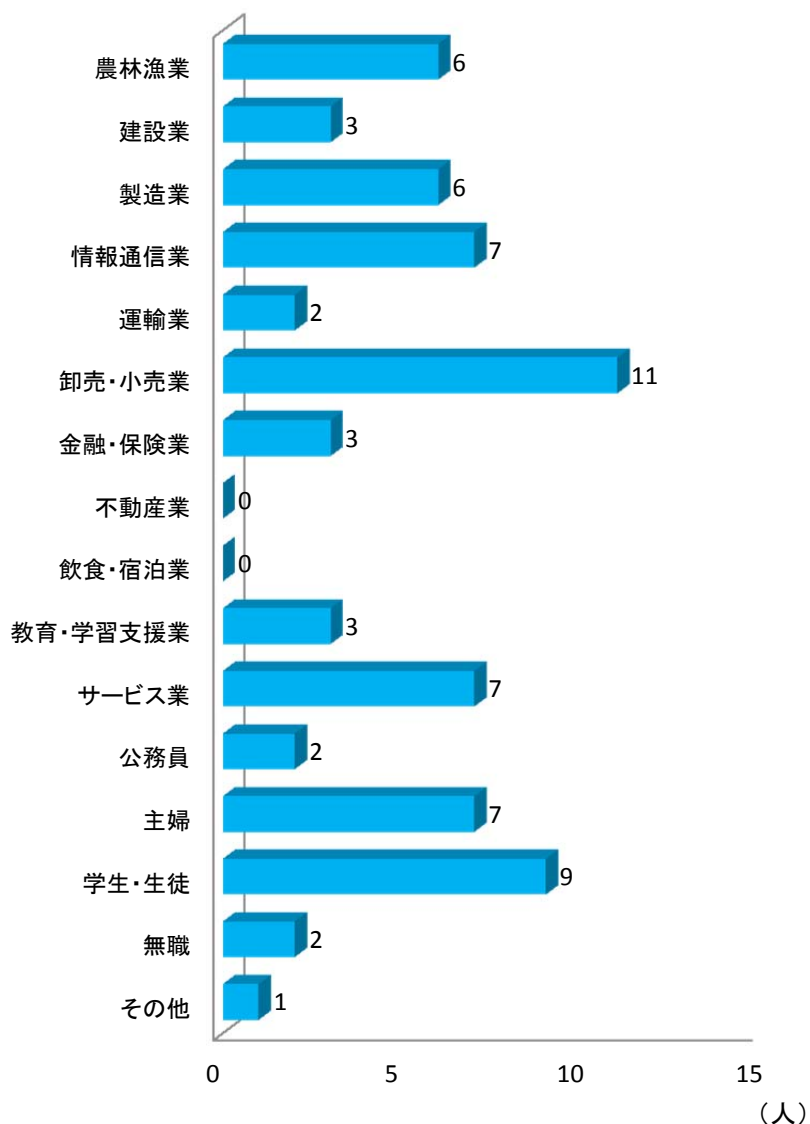
(16) 日本に来た目的は何ですか？(N=65, 複数回答)



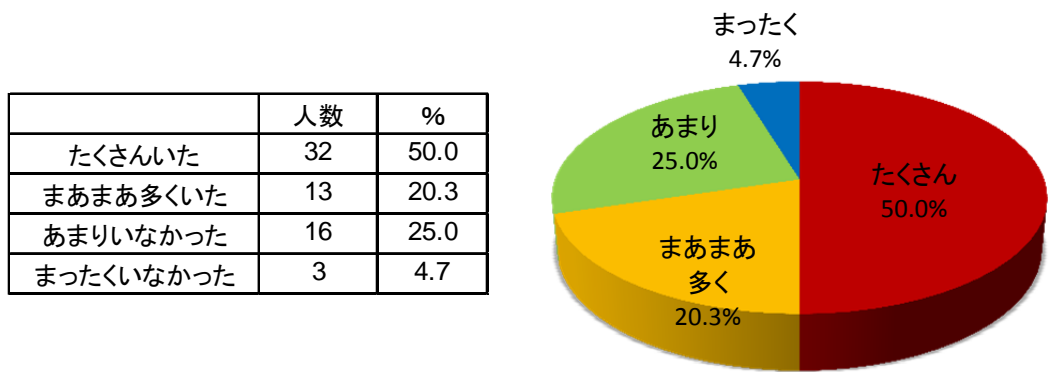
(17) 日本に来た時、どのくらい滞在するつもりでしたか？(N=65)



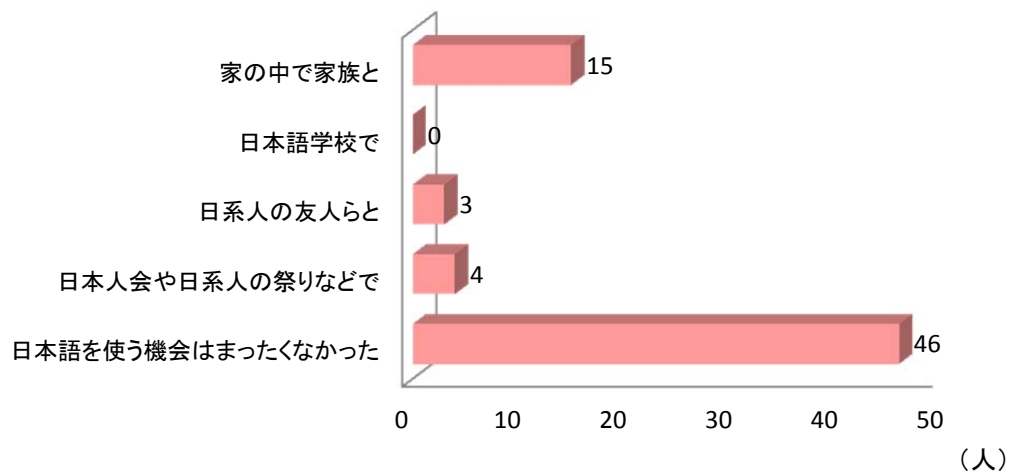
(18) 日本に来る前の職業は何でしたか？ (N=65, 複数回答)



(19) 日本に来る前, あなたの住んでいたところには日系人が住んでいましたか？ (N=64)

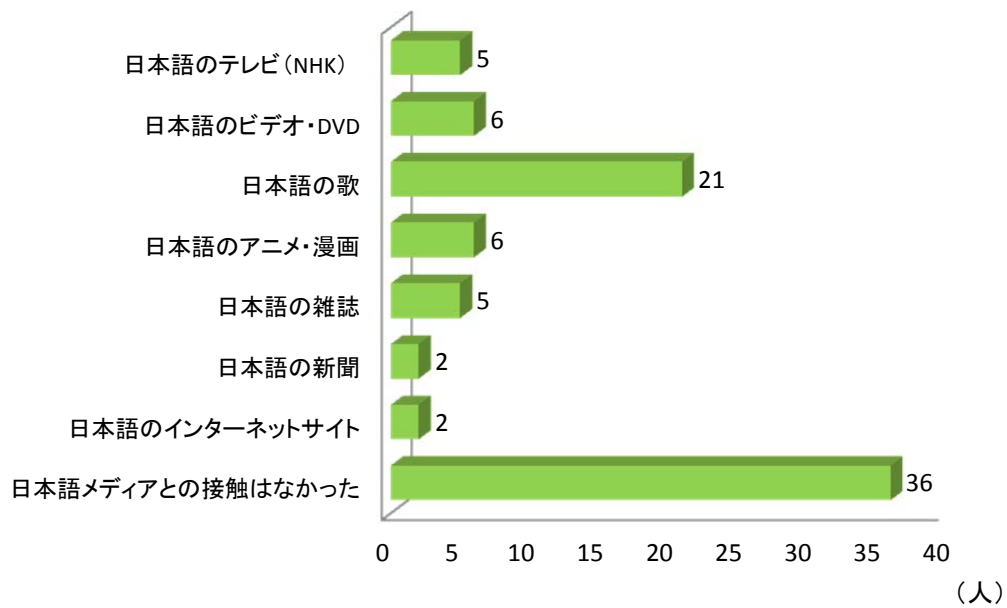


(20) 日本に来る前、あなたは日本語を使っていましたか？ (N=65, 複数回答)

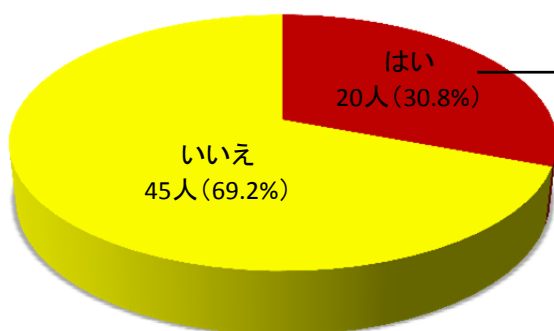


(21) 日本に来る前、日本語のメディアを見たり聞いたりしていましたか？

(N=65, 複数回答)



(22) 日本に来る前、あなたは日本語を勉強したことがありますか？ (N=65)

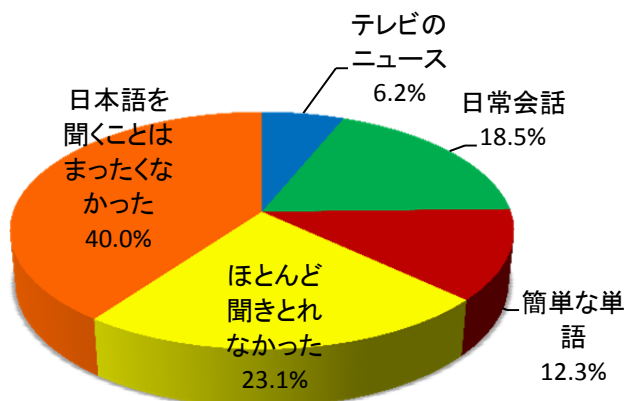


学習場所	人数
日本語学校	6
ブラジルの学校での日本語講座など	4
祖父母や両親から習った	8
独学	4
その他	2

(N=20, 複数回答)

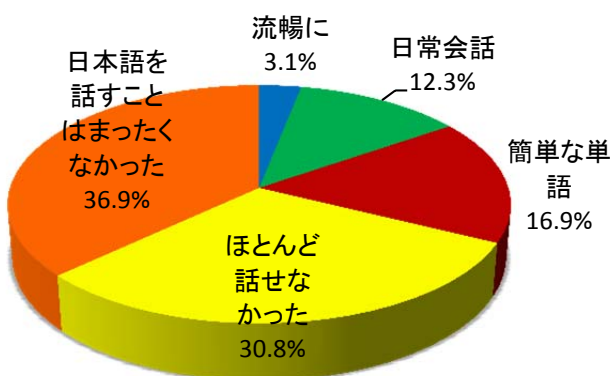
(23) 日本に来る前、あなたは日本語をどのくらい「聞く」ことができましたか？ (N=65)

	人数	%
テレビのニュースが理解できた	4	6.2
日常会話がだいたい聞きとれた	12	18.5
簡単な単語が聞きとれた	8	12.3
ほとんど聞きとれなかった	15	23.1
日本語を聞くことはまったくなかった	26	40.0



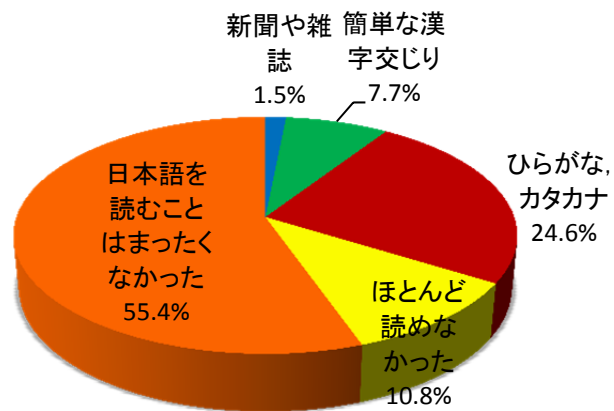
(24) 日本に来る前、あなたは日本語をどのくらい「話す」ことができましたか？ (N=65)

	人数	%
流暢に話すことができた	2	3.1
日常会話ができた	8	12.3
簡単な単語が話せた	11	16.9
ほとんど話せなかった	20	30.8
日本語を話すことはまったくなかった	24	36.9



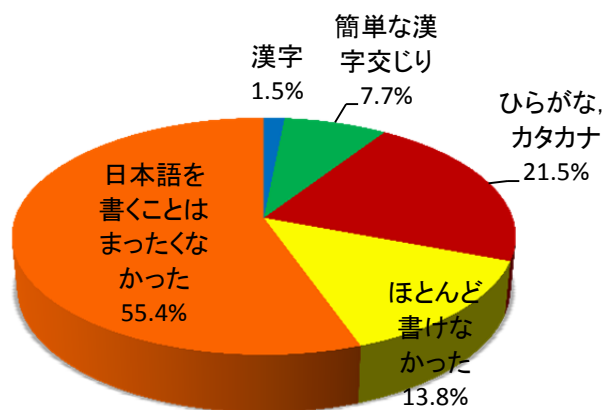
(25) 日本に来る前、あなたは日本語をどのくらい「読む」ことができましたか？ (N=65)

	人数	%
新聞や雑誌が読めた	1	1.5
簡単な漢字交じりの文章が読めた	5	7.7
ひらがな、カタカナの文章なら読めた	16	24.6
ほとんど読めなかった	7	10.8
日本語を読むことはまったくなかった	36	55.4



(26) 日本に来る前、あなたは日本語をどのくらい「書く」ことができましたか？ (N=65)

	人数	%
漢字を使って文章が書けた	1	1.5
簡単な漢字交じりの文章が書けた	5	7.7
ひらがな、カタカナの文章なら書けた	14	21.5
ほとんど書けなかった	9	13.8
日本語を書くことはまったくなかった	36	55.4



【3】職場での言語生活

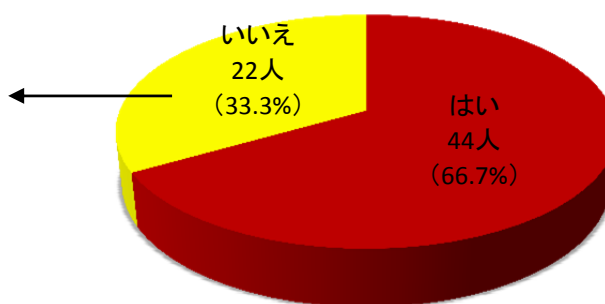
就業者の半数以上が「製造業」に携わっており、勤務先は居住地である総社とその近隣市町である。雇用形態は、大半が「派遣」である。回答者の約半数が「職場にブラジル人が多くいる」と回答しているが、職場での使用言語は「ポルトガル語と日本語が半々」、あるいは「主に日本語」を使用するとの回答が4割程度ずつであり、職場は日本語との接触が多い場面である。職場の日本人との関係は比較的良好である。仕事上、日本語が「必要である」と答えた人が約7割いる一方で、「必要でない」と答えた人も3割程度いる。

(27) あなたは現在、仕事をしていますか？ (N=66)

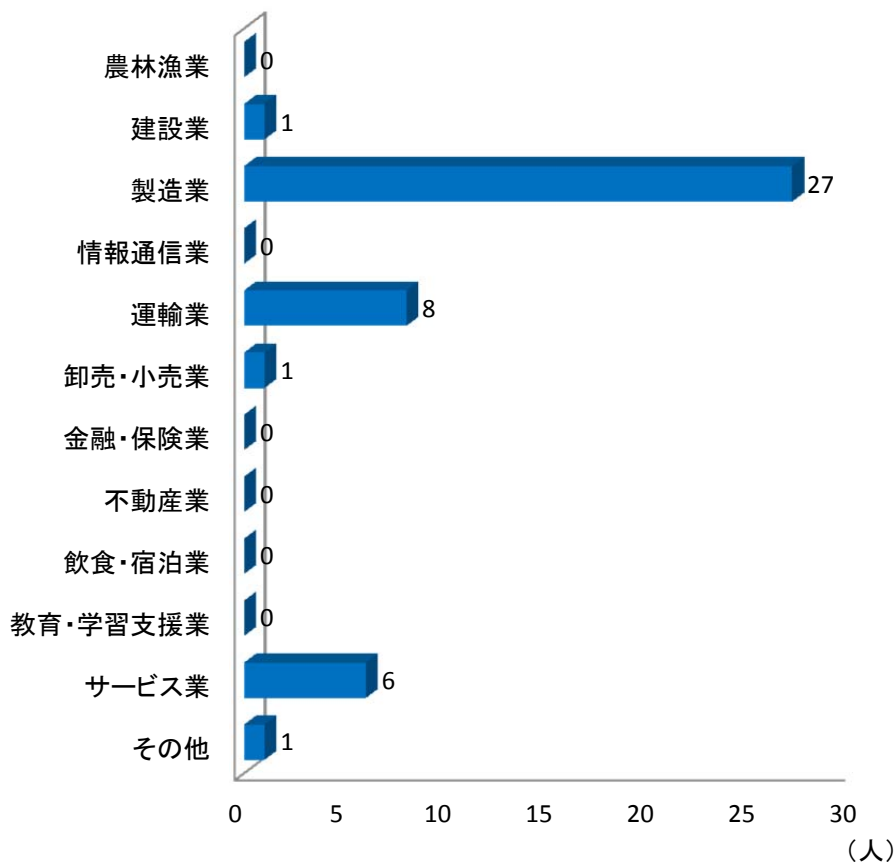
(27-1) 仕事をしていない場合

	人数
失業中	8
失業保険受給中	4
主婦	8
学生・生徒	0
退職	1

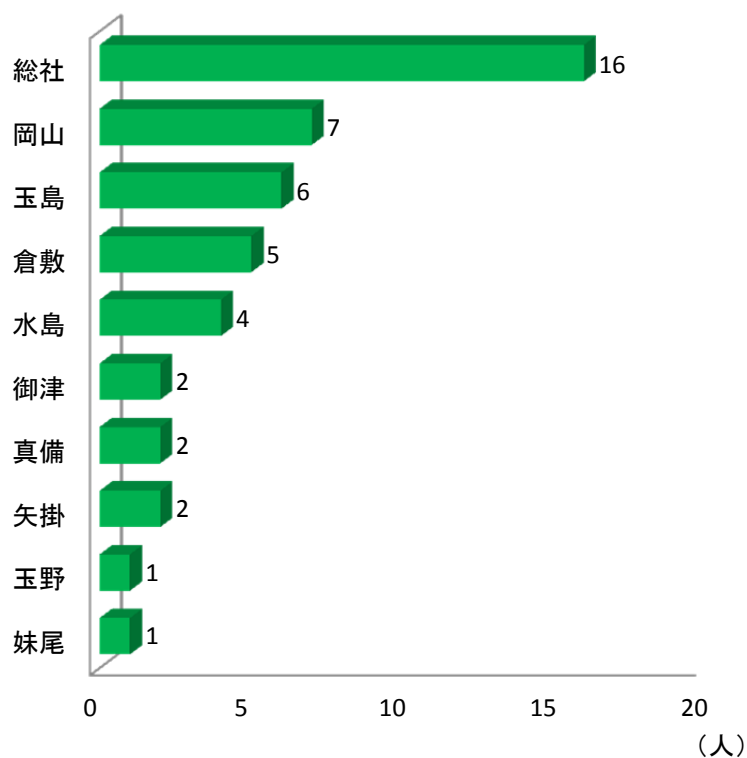
(N=21)



(27-2) あなたの現在の職業を教えてください。(N=43)



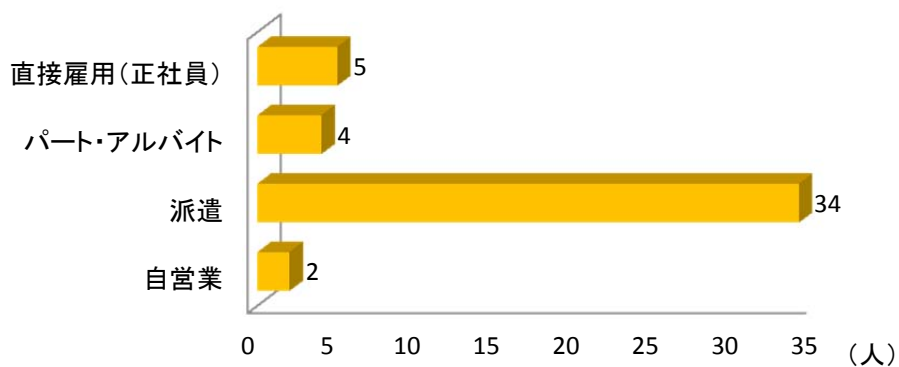
(27-3) あなたの職場はどこにありますか？(N=44, 複数回答)



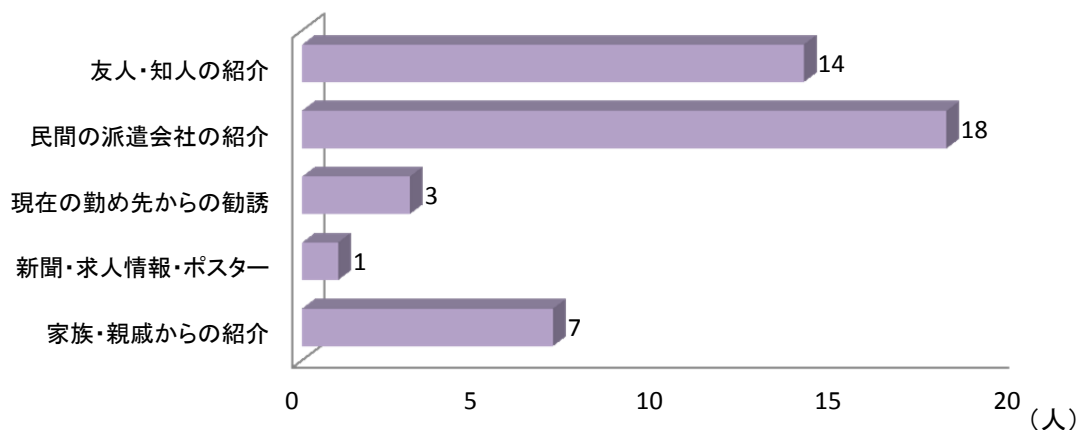
(27-4) 1週間に何日間・何時間くらい働いていますか？ (N=42)

週5～6日，一日8～11時間程度が最も多い。

(27-5) 雇用形態は何ですか？ (N=44, 複数回答)

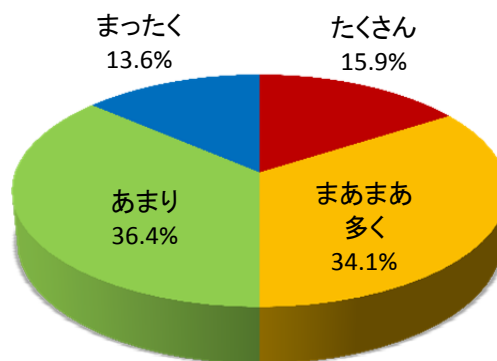


(27-6) 今の仕事をどのようにして見つけましたか？ (N=43)



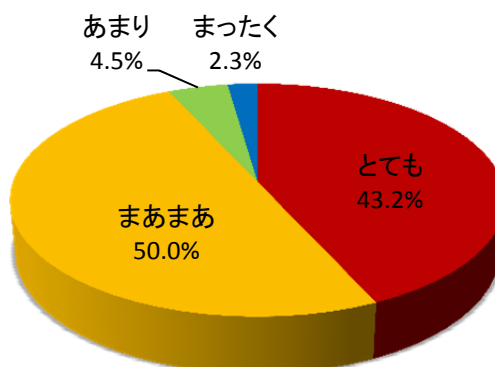
(27-7) 職場にはブラジル人がいますか？ (N=44)

	人数	%
たくさんいる	7	15.9
まあまあ多くいる	15	34.1
あまりいない	16	36.4
まったくいない	6	13.6



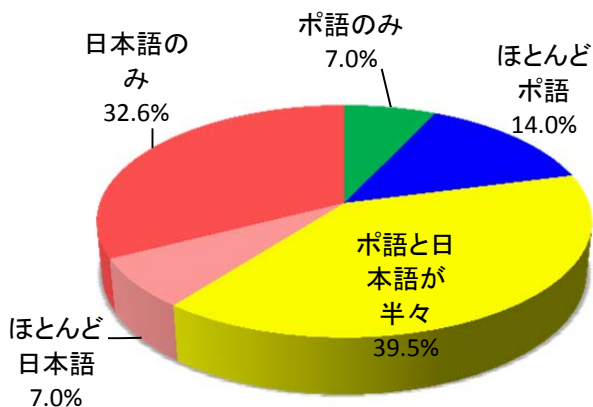
(27-8) 職場の日本人との付き合いは良好ですか？ (N=44)

	人数	%
とても良い	19	43.2
まあまあ良い	22	50.0
あまり良くない	2	4.5
まったく良くない	1	2.3



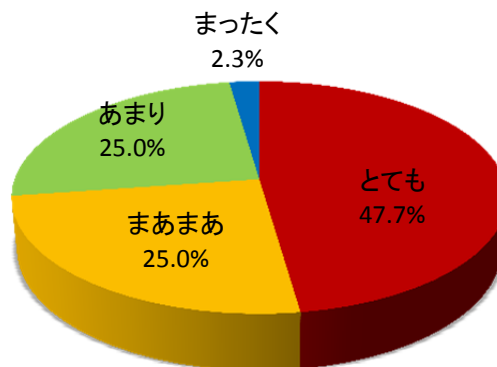
(27-9) 職場では主に何語で話をしますか？ (N=43)

	人数	%
ポルトガル語のみ	3	7.0
ほとんどポルトガル語	6	14.0
ポルトガル語と日本語が半々	17	39.5
ほとんど日本語	3	7.0
日本語のみ	14	32.6



(27-10) 仕事で日本語が必要ですか？ (N=44)

	人数	%
とても必要	21	47.7
まあまあ必要	11	25.0
あまり必要でない	11	25.0
まったく必要でない	1	2.3



【4】 家族・友人との言語生活

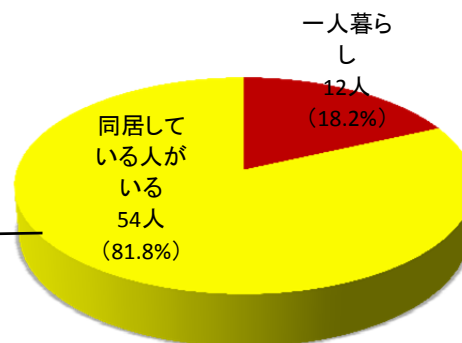
回答者の8割以上が家族帯同者である。主な同居家族は、「配偶者のみ」、あるいは「配偶者と子供」である。配偶者は日系人である場合が多い。配偶者・子供との主な使用言語は「ポルトガル語」であるが、子供との会話においては、「ポルトガル語と日本語が半々」であるとの回答が増える。ブラジル人の友人との主な使用言語は「ポルトガル語」であり、家族との会話よりも、ポルトガル語の使用が多い。また、「日本人の友人が多い」と答えた人は約4割に留まるが、「日本人の友人が欲しい」と答えた人は約8割にも上る。

(28) 現在、あなたには同居している家族がいますか？ (N=66)

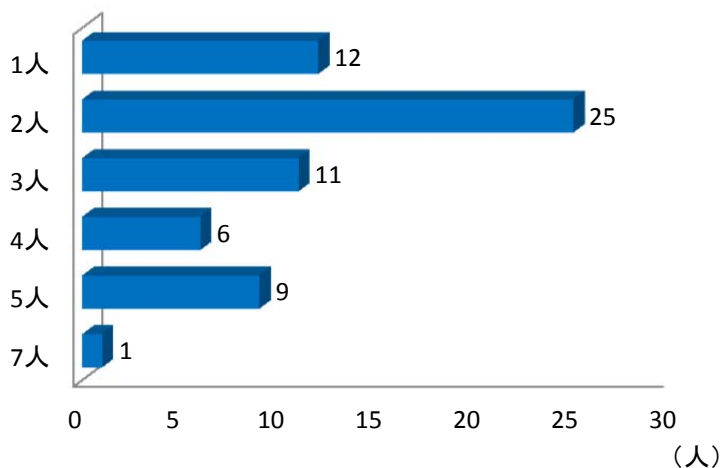
(28-1) 同居している人

	人数
配偶者	21
配偶者と子供	18
子供・孫	4
親	1
恋人	2
配偶者・子供のほか兄弟・親戚など	7

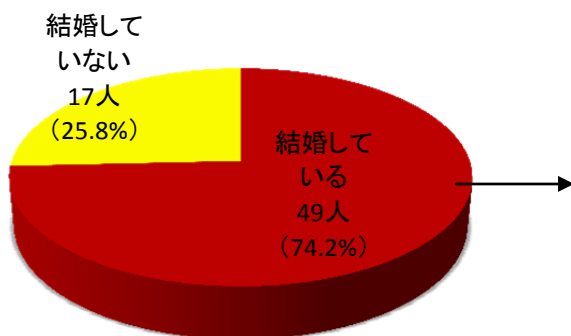
(N=53)



(28-2) あなたを含めて、同居している人数を教えてください。(N=64)



(29) あなたは結婚していますか？ (N=66)



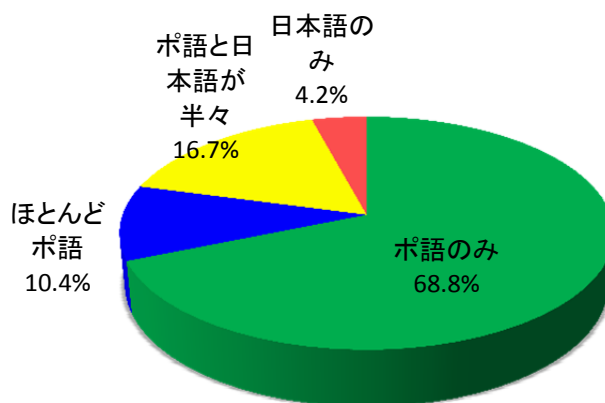
(29-1) 配偶者の属性

	人数	%
日系2世	16	32.7
日系3世	16	32.7
日本人	3	6.1
非日系	14	28.6

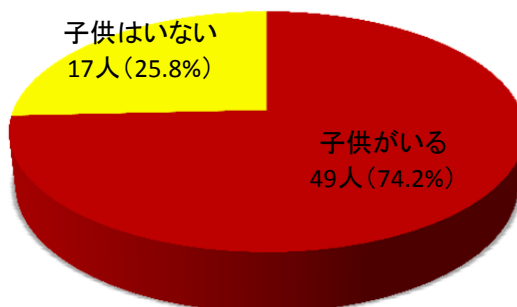
(N=49)

(29-2) 配偶者とは主に何語で話をしますか？ (N=48)

	人数	%
ポルトガル語のみ	33	68.8
ほとんどポルトガル語	5	10.4
ポルトガル語と日本語が半々	8	16.7
ほとんど日本語	0	0.0
日本語のみ	2	4.2

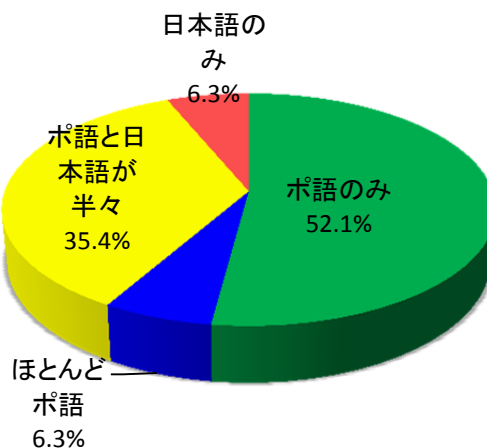


(30) あなたには子供がいますか？ (N=66)



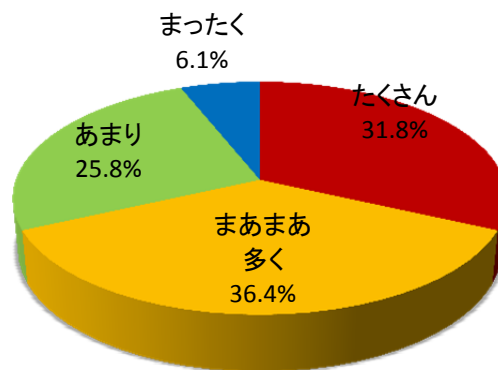
(30-1) 子供とは主に何語で話をしますか？ (N=48)

	人数	%
ポルトガル語のみ	25	52.1
ほとんどポルトガル語	3	6.3
ポルトガル語と日本語が半々	17	35.4
ほとんど日本語	0	0.0
日本語のみ	3	6.3



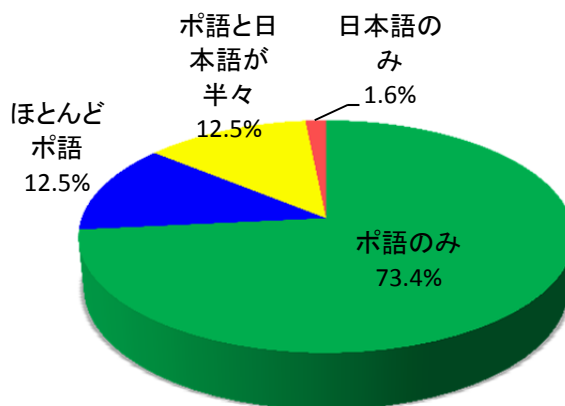
(31) ブラジル人の友人はいますか？ (N=66)

	人数	%
たくさんいる	21	31.8
まあまあ多くいる	24	36.4
あまりいない	17	25.8
まったくいない	4	6.1



(32) ブラジル人の友人とは主に何語で話をしますか？ (N=64)

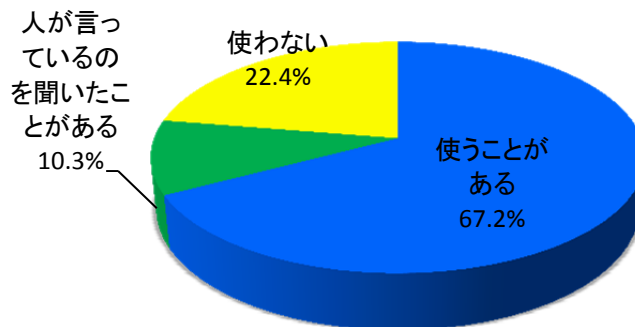
	人数	%
ポルトガル語のみ	47	73.4
ほとんどポルトガル語	8	12.5
ポルトガル語と日本語が半々	8	12.5
ほとんど日本語	0	0.0
日本語のみ	1	1.6



(33) 日本に住んでいるブラジル人と話す時、以下の例のように、ポルトガル語に日本語を混ぜたり、日本語とポルトガル語を混ぜた造語を使うことはありますか？ (N=58)

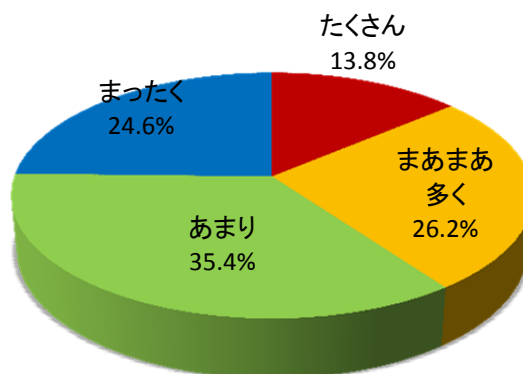
- 例) ・ Ele está *gambateando*. (彼はがんばっている)
 ・ *patinqueiro* (パチンコをする人), *tambozal* (田んぼ)

	人数	%
使うことがある	39	67.2
人が言っているのを聞いたことがある	6	10.3
使わない	13	22.4



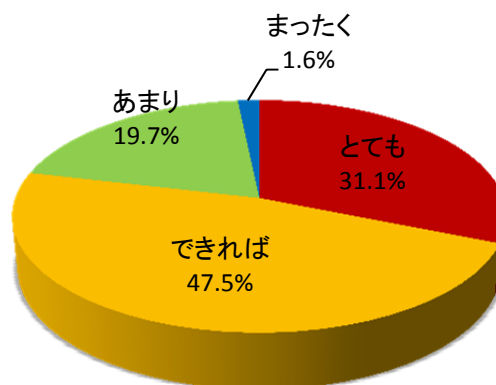
(34) 日本人の友人はいますか？ (N=65)

	人数	%
たくさんいる	9	13.8
まあまあ多くいる	17	26.2
あまりいない	23	35.4
まったくいない	16	24.6



(35) 日本人の友人が欲しいですか？ (N=61)

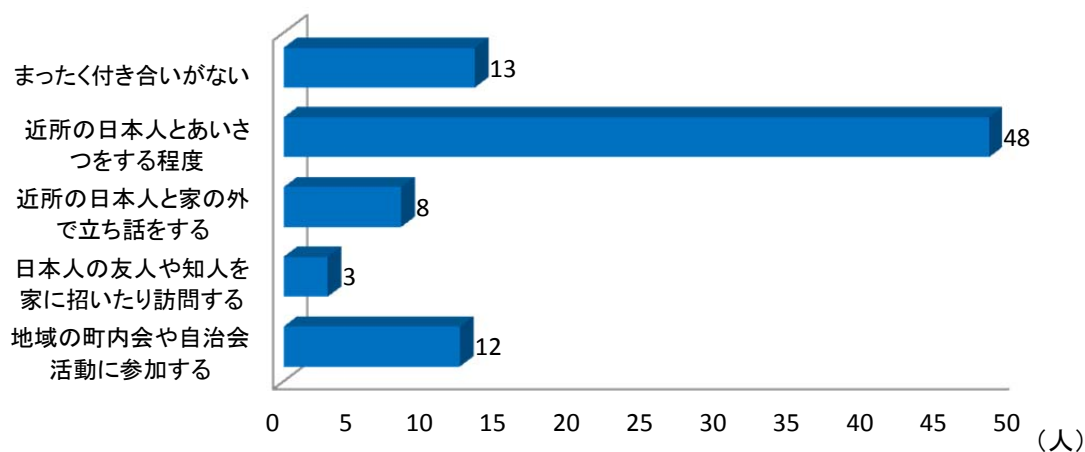
	人数	%
とても欲しい	19	31.1
できれば欲しい	29	47.5
あまり欲しくない	12	19.7
まったく欲しくない	1	1.6



【5】地域社会での言語生活

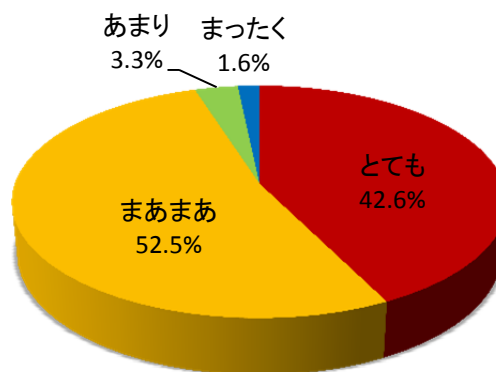
回答者の半数以上が、「近所にブラジル人が多く住んでいる」と答え、近所の日本人との付き合いは「あいさつ程度」と答えている。日本人との近所付き合いが「まったくくない」という人も2割程度存在する。日本人との近所付き合いは「良好」と答えた人が大半であり、地域の日本人から「差別を受けているとは感じない」という人が多いものの、約2割の回答者が「差別を受けていると感じる」と答えている。教会など宗教団体の活動に参加している人は約4割で、そこでの主な使用言語は「ポルトガル語」である。

(36) 日頃、日本人とどの程度のお付き合いをしていますか？ (N=65, 複数回答)



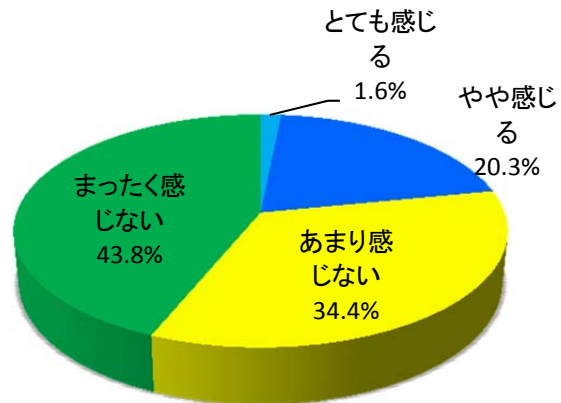
(37) 近所に住む日本人との付き合いは良好ですか？ (N=61)

	人数	%
とても良い	26	42.6
まあまあ良い	32	52.5
あまり良くない	2	3.3
まったく良くない	1	1.6



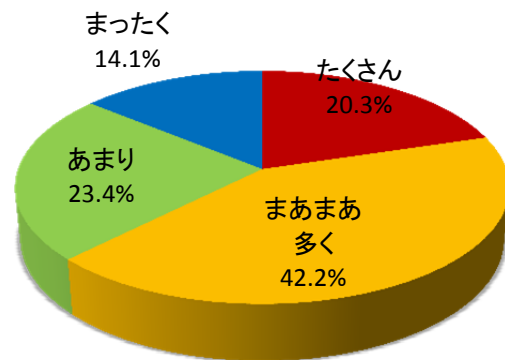
(38) あなたは地域の日本人から差別を受けていると感じることがありますか？ (N=64)

	人数	%
とても感じる	1	1.6
やや感じる	13	20.3
あまり感じない	22	34.4
まったく感じない	28	43.8



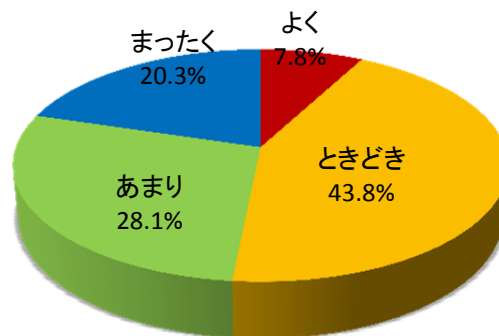
(39) 近所にブラジル人は住んでいますか？ (N=64)

	人数	%
たくさんいる	13	20.3
まあまあ多くいる	27	42.2
あまりいない	15	23.4
まったくいない	9	14.1



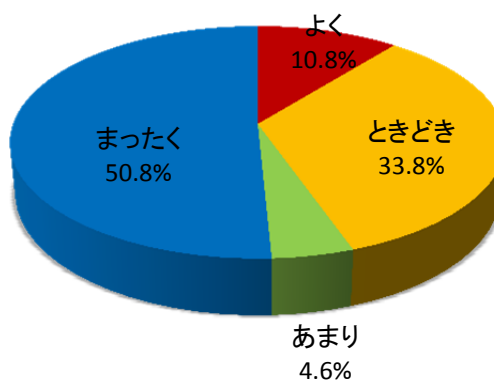
(40) あなたは総社市のイベント（お祭りなど）に参加しますか？ (N=64)

	人数	%
よく参加する	5	7.8
ときどき参加する	28	43.8
あまり参加しない	18	28.1
まったく参加しない	13	20.3



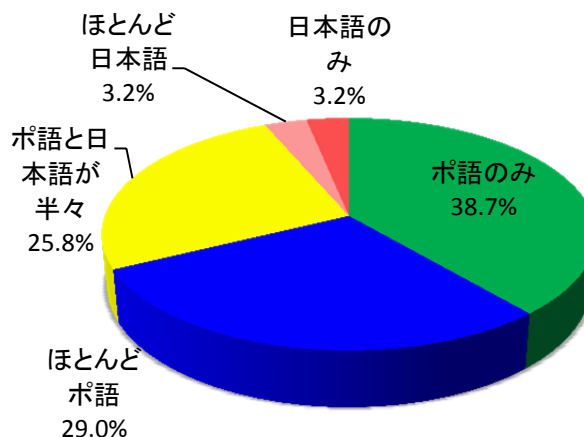
(41) あなたは教会など宗教団体の礼拝や活動に参加していますか？ (N=65)

	人数	%
よく参加する	7	10.8
ときどき参加する	22	33.8
あまり参加しない	3	4.6
まったく参加しない	33	50.8



(41-1) 教会や宗教団体の人とは主に何語で話をしますか？ (N=31)

	人数	%
ポルトガル語のみ	12	38.7
ほとんどポルトガル語	9	29.0
ポルトガル語と日本語が半々	8	25.8
ほとんど日本語	1	3.2
日本語のみ	1	3.2

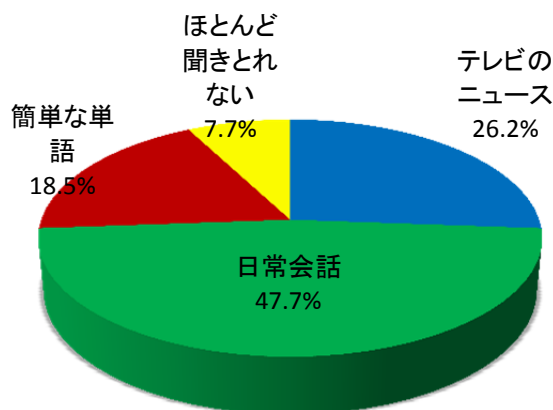


【6】現在の日本語能力意識・日本語学習状況

現在の日本語能力意識について、「聞く・話す」では「日常会話」あるいは「簡単な単語」ができる、「読む・書く」では「ひらがな・カタカナ」あるいは「簡単な漢字交じり」の文章ならできると答えた人が最も多い。9割近くの回答者が、日本語を学ぶ必要性を感じながらも、現在、日本語を勉強している人は少ない。日本語学習ができない理由には、「日本語教室へ通う時間がない」ことや「教室はあっても曜日や時間が合わない」こと、「小さい子供がいるために通うことができない」ことなどが挙げられる。

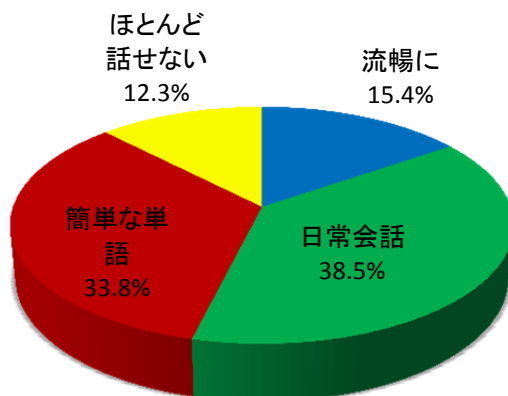
(42) あなたは現在、日本語をどのくらい「聞く」ことができますか？ (N=65)

	人数	%
テレビのニュースが理解できる	17	26.2
日常会話がだいたい聞きとれる	31	47.7
簡単な単語が聞きとれる	12	18.5
ほとんど聞きとれない	5	7.7
まったく聞けない	0	0.0



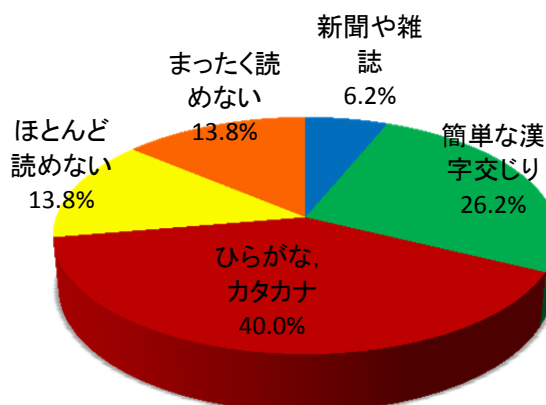
(43) あなたは現在、日本語をどのくらい「話す」ことができますか？ (N=65)

	人数	%
流暢に話すことができる	10	15.4
日常会話ができる	25	38.5
簡単な単語が話せる	22	33.8
ほとんど話せない	8	12.3
まったく話せない	0	0.0



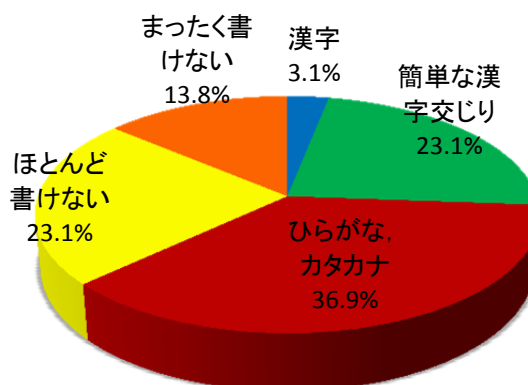
(44) あなたは現在、日本語をどのくらい「読む」ことができますか？ (N=65)

	人数	%
新聞や雑誌が読める	4	6.2
簡単な漢字交じりの文章が読める	17	26.2
ひらがな, カタカナの文章なら読める	26	40.0
ほとんど読めない	9	13.8
まったく読めない	9	13.8

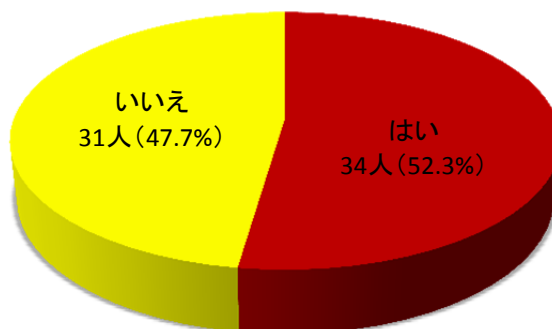


(45) あなたは現在、日本語をどのくらい「書く」ことができますか？ (N=65)

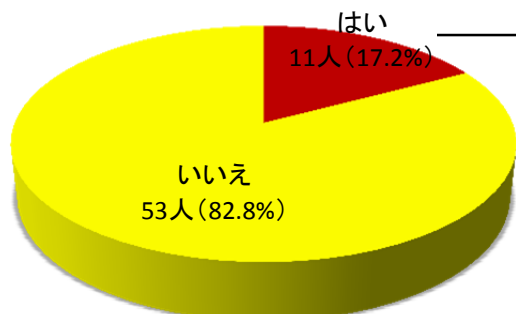
	人数	%
漢字を使って文章が書ける	2	3.1
簡単な漢字交じりの文章が書ける	15	23.1
ひらがな, カタカナの文章なら書ける	24	36.9
ほとんど書けない	15	23.1
まったく書けない	9	13.8



(46) あなたは日本で、日本語を勉強したことがありますか？ (N=65)



(47) あなたは現在、日本語を勉強していますか？ (N=64)

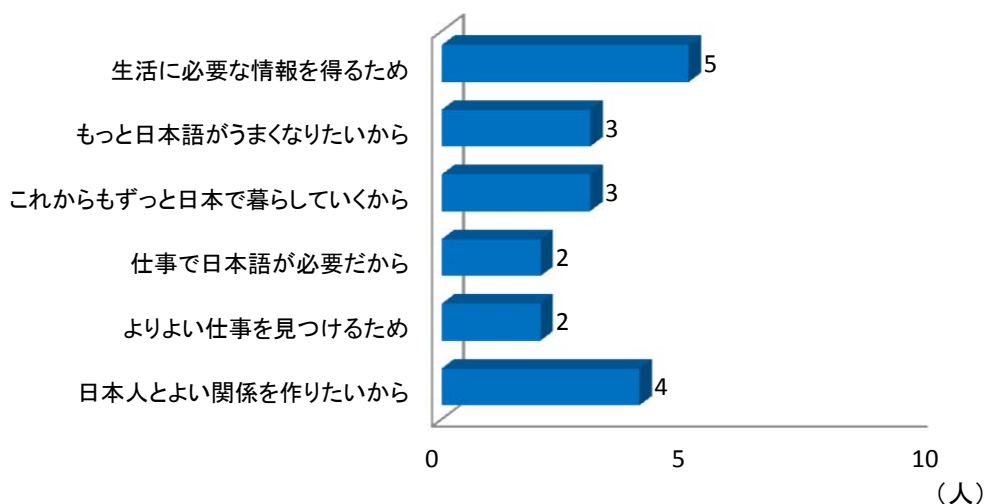


(47-1) 学習場所

	人数
独学	6
日本語教室	5
日本人の友人・知人に教えてもらっている	0
家族に教えてもらっている	3
職場で教えてもらっている	1

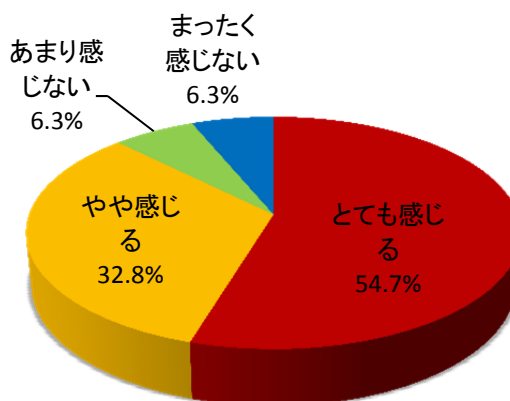
(N=11, 複数回答)

(47-2) 日本語を勉強する目的は何ですか？ (N=11, 複数回答)



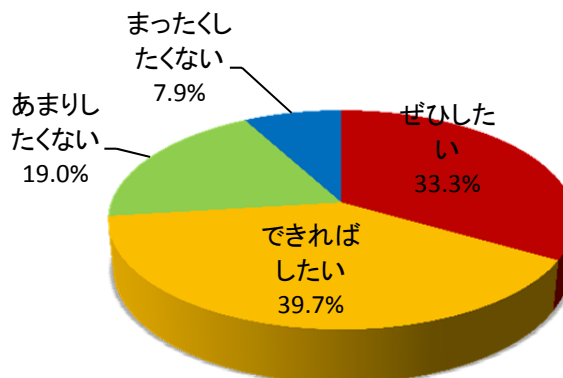
(48) あなたは日本語を学ぶ必要性を感じていますか？ (N=64)

	人数	%
とても感じる	35	54.7
やや感じる	21	32.8
あまり感じない	4	6.3
まったく感じない	4	6.3

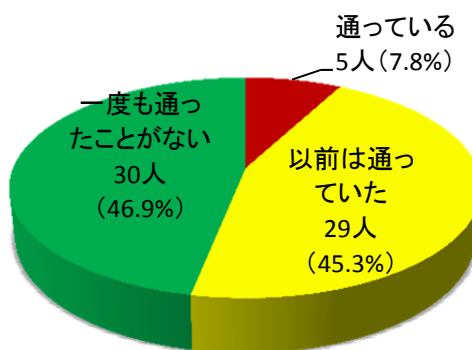


(49) 今後、日本語を勉強したいと思いますか？ (N=63)

	人数	%
ぜひしたい	21	33.3
できればしたい	25	39.7
あまりしたくない	12	19.0
まったくしたくない	5	7.9

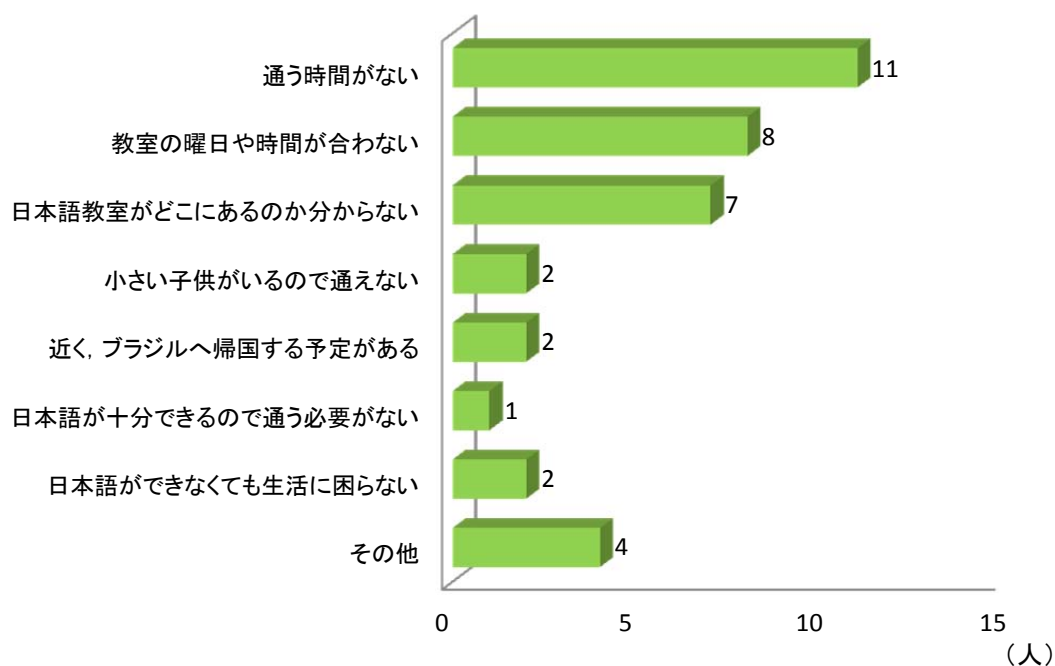


(50) あなたは、現在、日本語教室に通っていますか？ (N=64)



(50-1) (日本語教室に「一度も通ったことがない」人に対して)

日本語教室へ通っていないのはなぜですか？ (N=26, 複数回答)



(50-2) (日本語教室に「通っている」人に対して)

どこの日本語教室へ通っていますか？ (N=5)

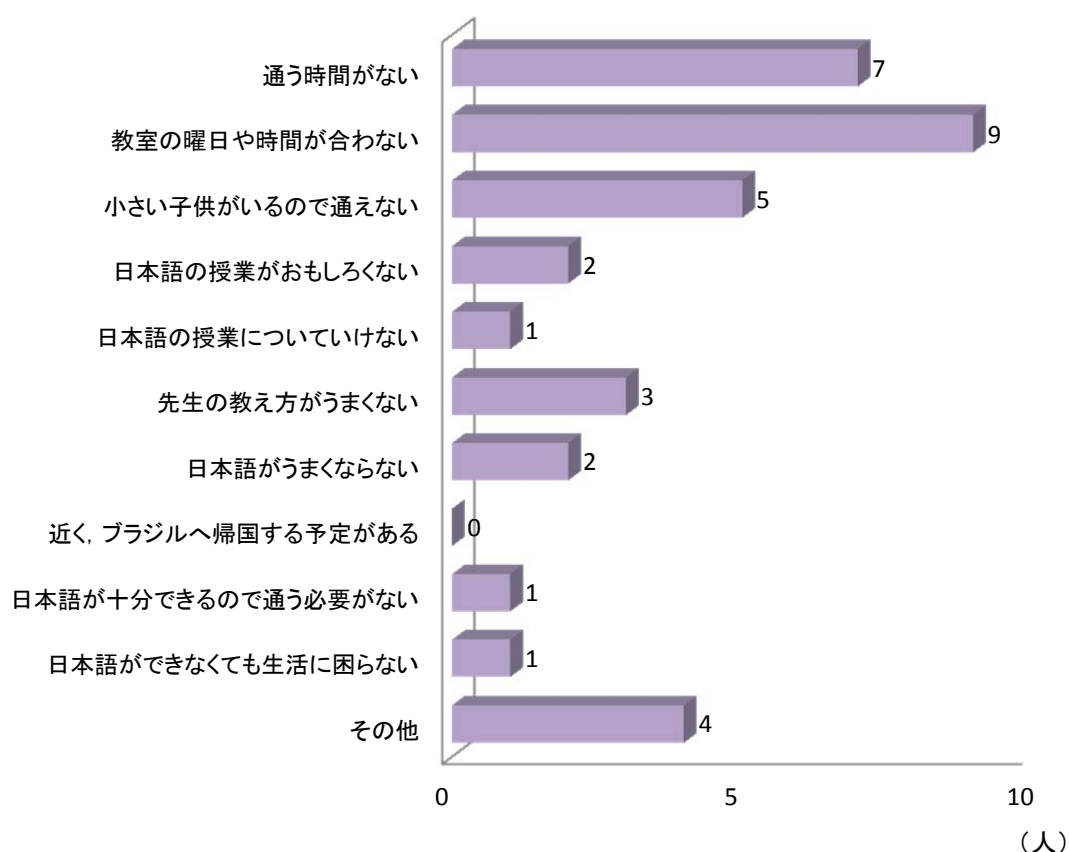
	人数
総社市役所の日本語教室	4
モモタロウ日本語教室	1
その他	0

(50-3) 日本語教室へ通い始めたのはなぜですか？ (N=5, 複数回答)

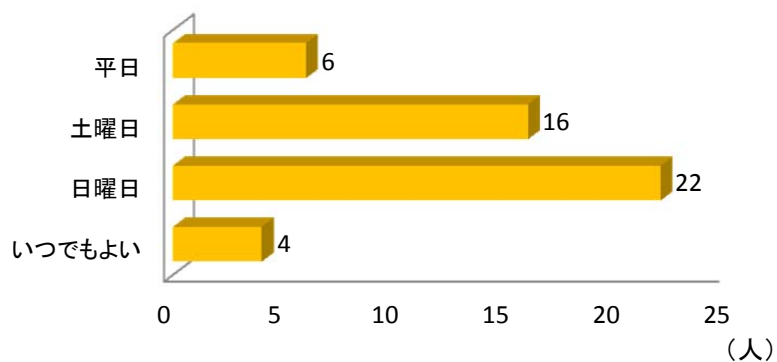
	人数
日本語を勉強したいから	4
日本語を使う必要がある	3
無料だから	2
家の近くに日本語教室ができたから	1
市役所の人に勧められたから	0
知人・友人に誘われたから	0

(50-4) (日本語教室に「以前は通っていた」人に対して)

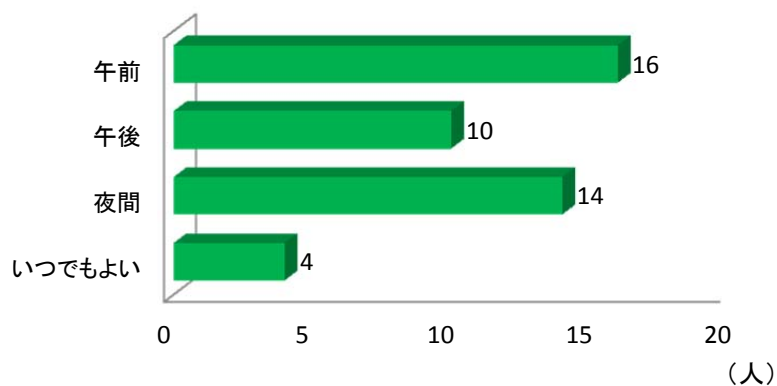
日本語教室へ通っていないのはなぜですか？ (N=28, 複数回答)



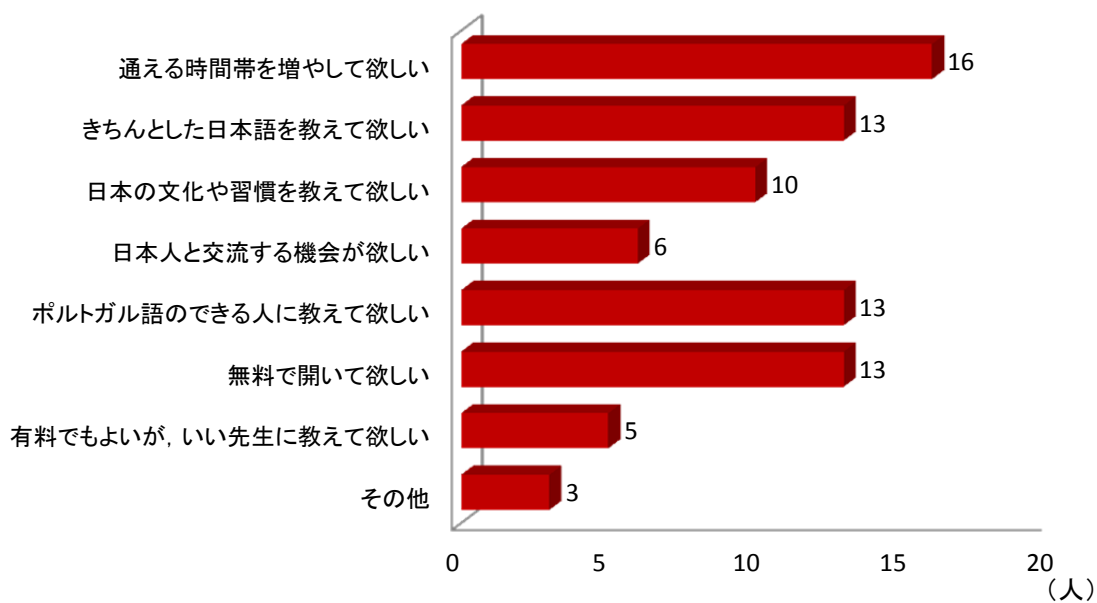
(51-1) 総社市で日本語教室を開く場合、何曜日がいいですか？ (N=47, 複数回答)



(51-2) 総社市で日本語教室を開く場合、どの時間帯がいいですか？ (N=43, 複数回答)



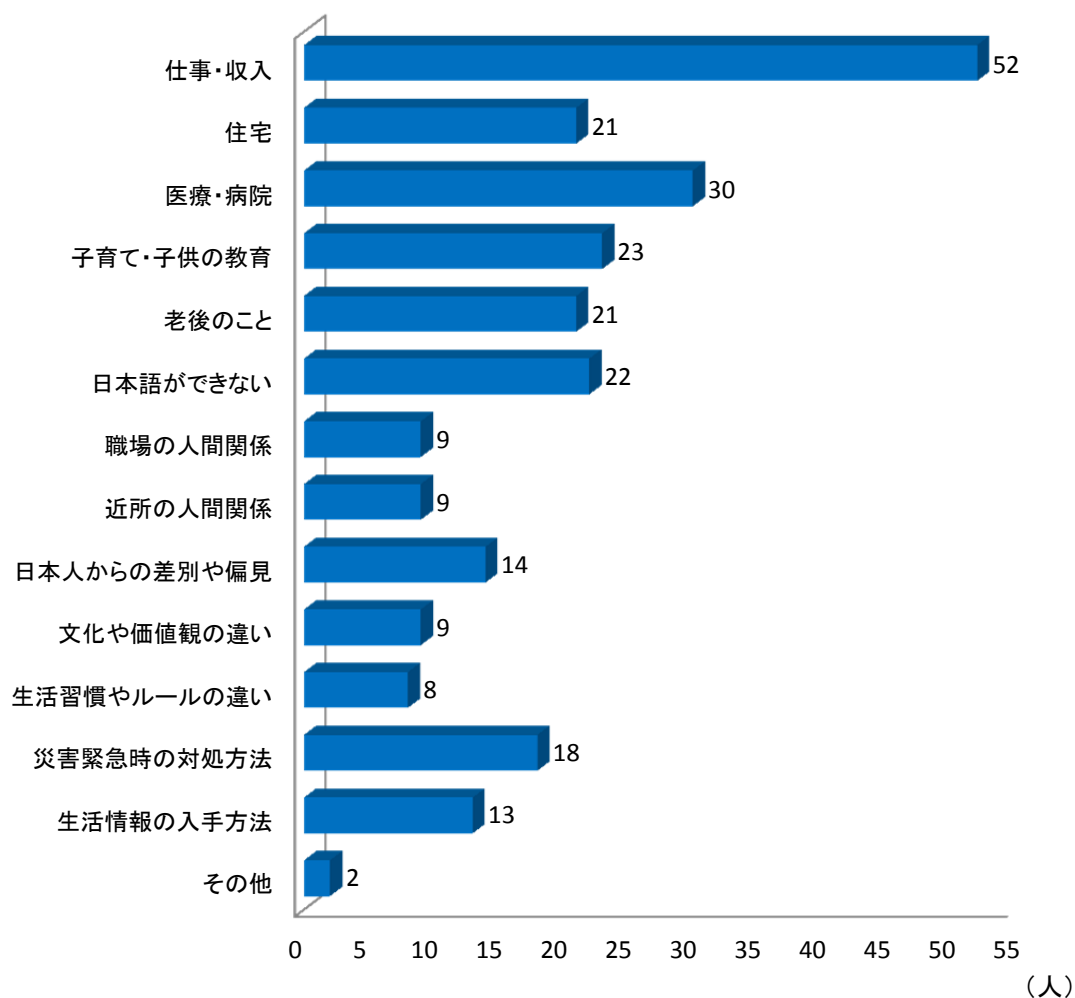
(52) 日本語教室に期待することは何ですか？ (N=52, 複数回答)



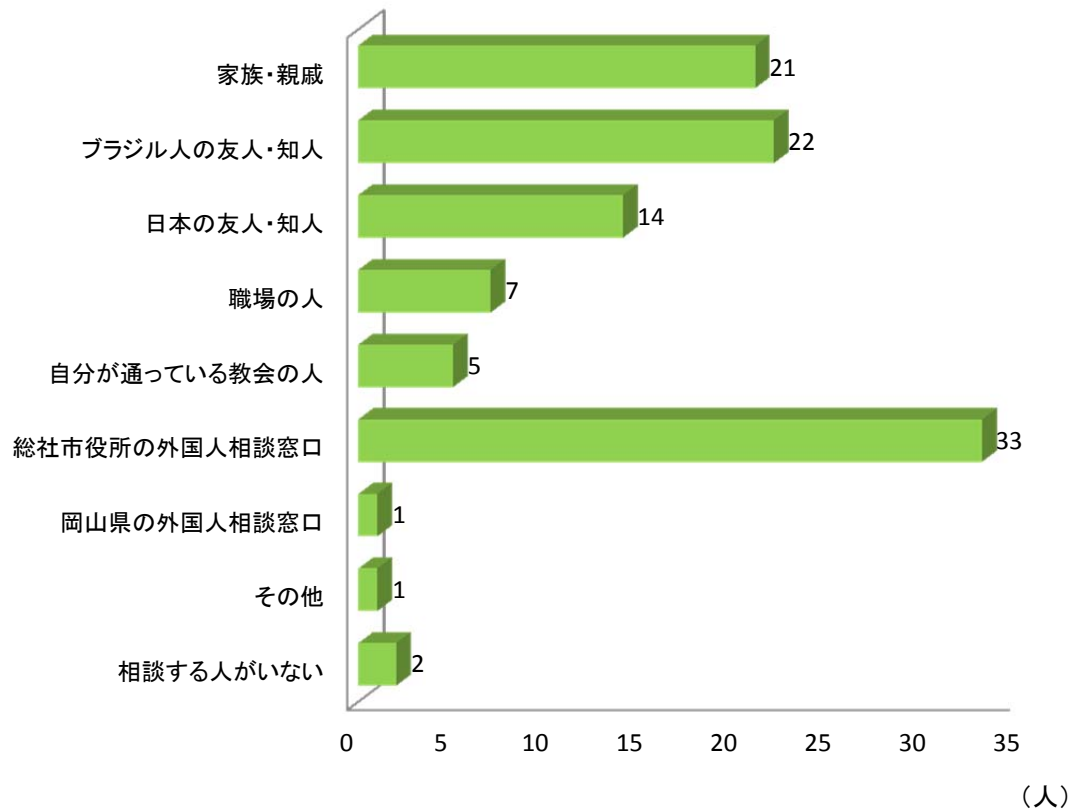
【7】 現在および今後の生活

生活上の悩みで圧倒的に多いのは「仕事・収入」の問題であるが、「日本語ができない」ことも心配事の一つとなっている。相談相手として、ブラジル人の友人や家族・親戚など身近な人だけでなく、ブラジル人相談員が常駐する「総社市役所の外国人相談窓口」の存在が大きい。主な情報入手源は、インターネットのほか、ポルトガル語の新聞・雑誌、ポルトガル語版総社市広報誌 SOJA BRAZILIAN NEWS である。永住希望者は3割程度存在するものの、回答者の半数は、いずれブラジルへ帰国したいという希望を持っている。

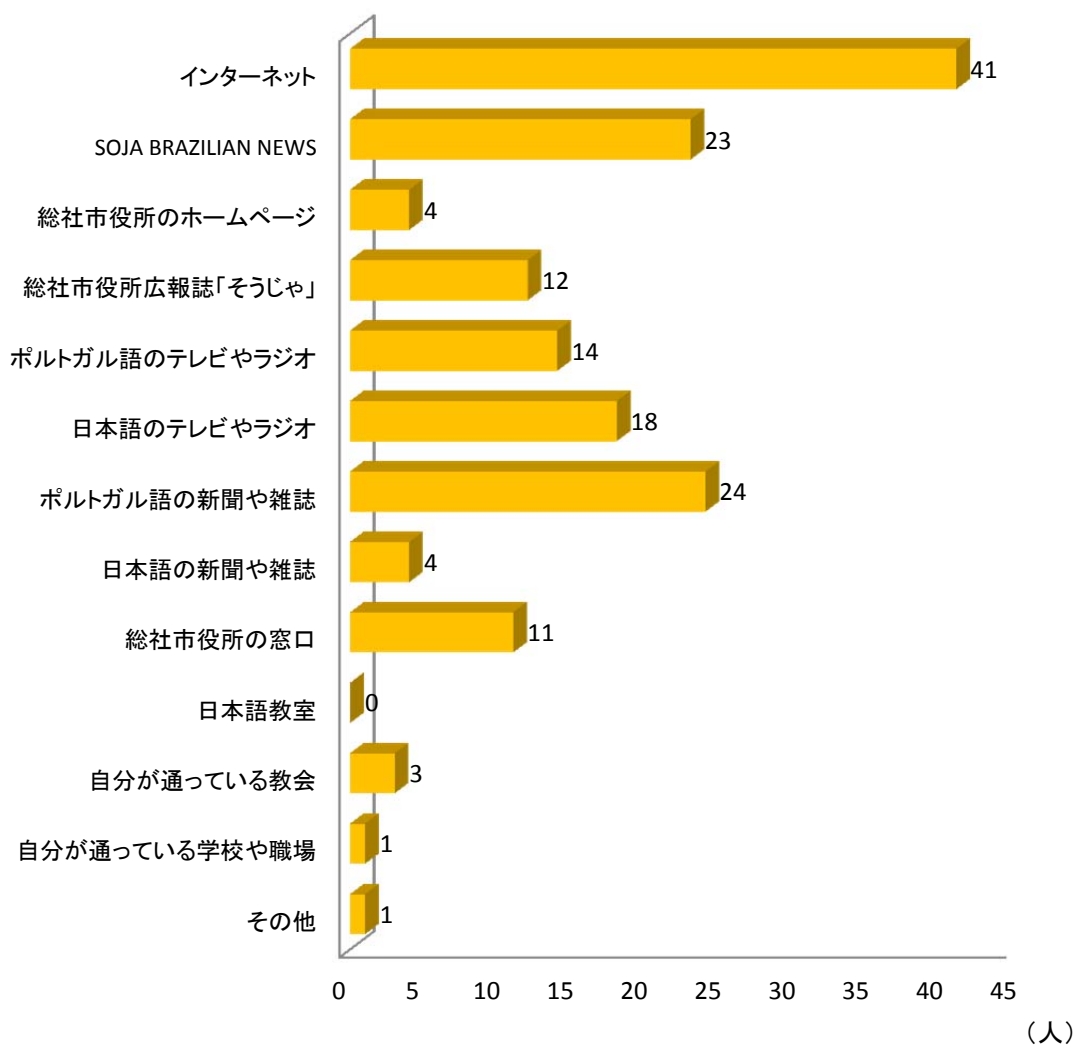
(53) 日本で生活する上での悩みや心配事は何ですか？（N=64, 複数回答）



(54) 日常生活で困った時、誰に相談しますか？ (N=64, 複数回答)

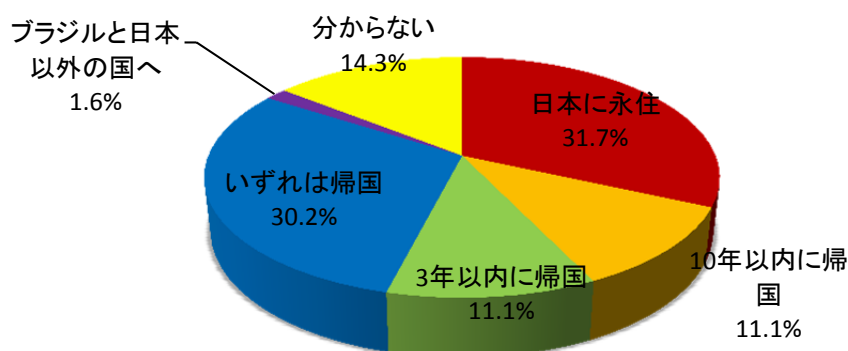


(55) 生活に必要な情報を主にどこから得ていますか？ (N=64, 複数回答)



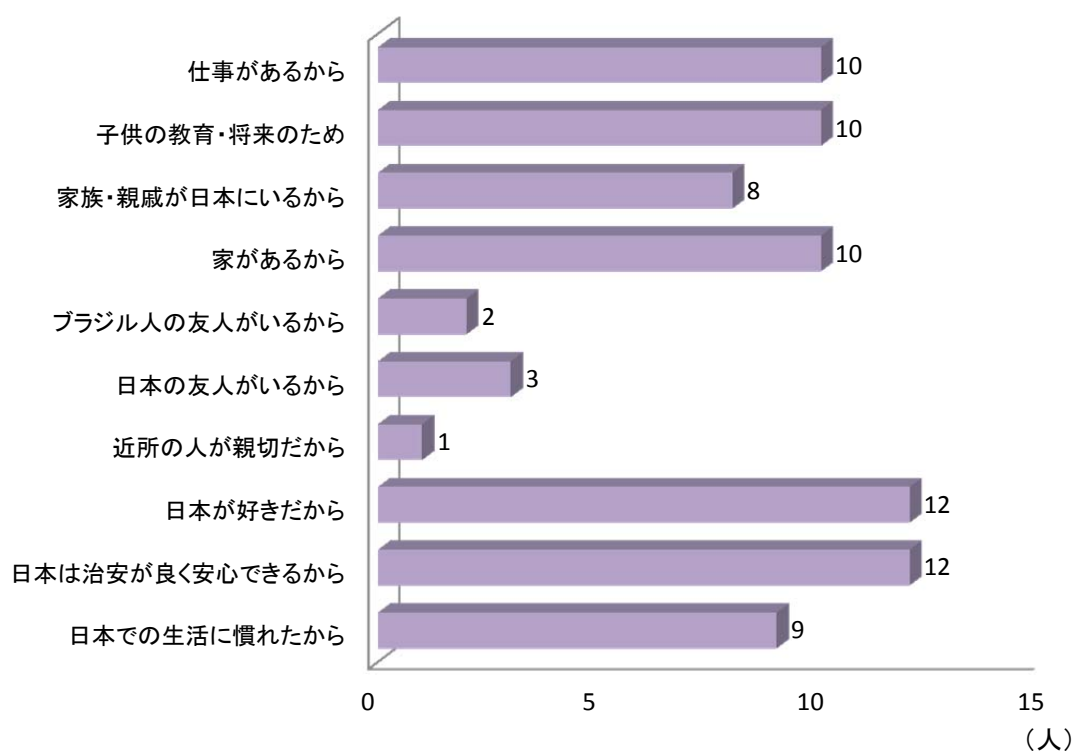
(56) あなたは、今後も日本に住み続ける予定ですか？ (N=63)

	人数	%
日本に永住する予定	20	31.7
3年以内にブラジルに帰国する予定	7	11.1
10年以内にブラジルに帰国する予定	7	11.1
できるだけ日本に長く滞在し、いずれはブラジルに帰国する予定	19	30.2
ブラジルと日本以外の国に行く予定	1	1.6
分からない	9	14.3



(56-1) (「日本に永住する予定」の人に対して)

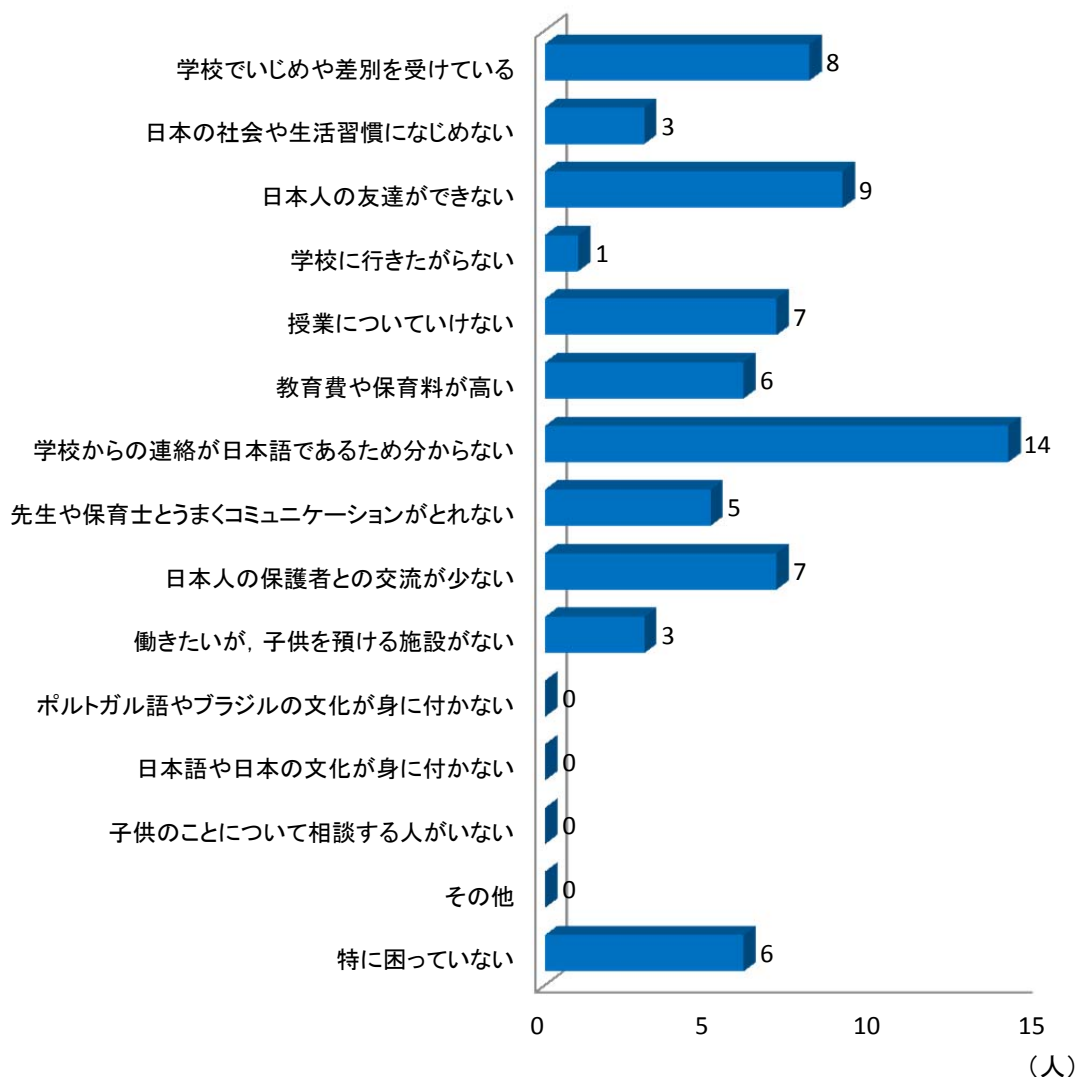
日本に永住する理由を教えてください (N=20, 複数回答)



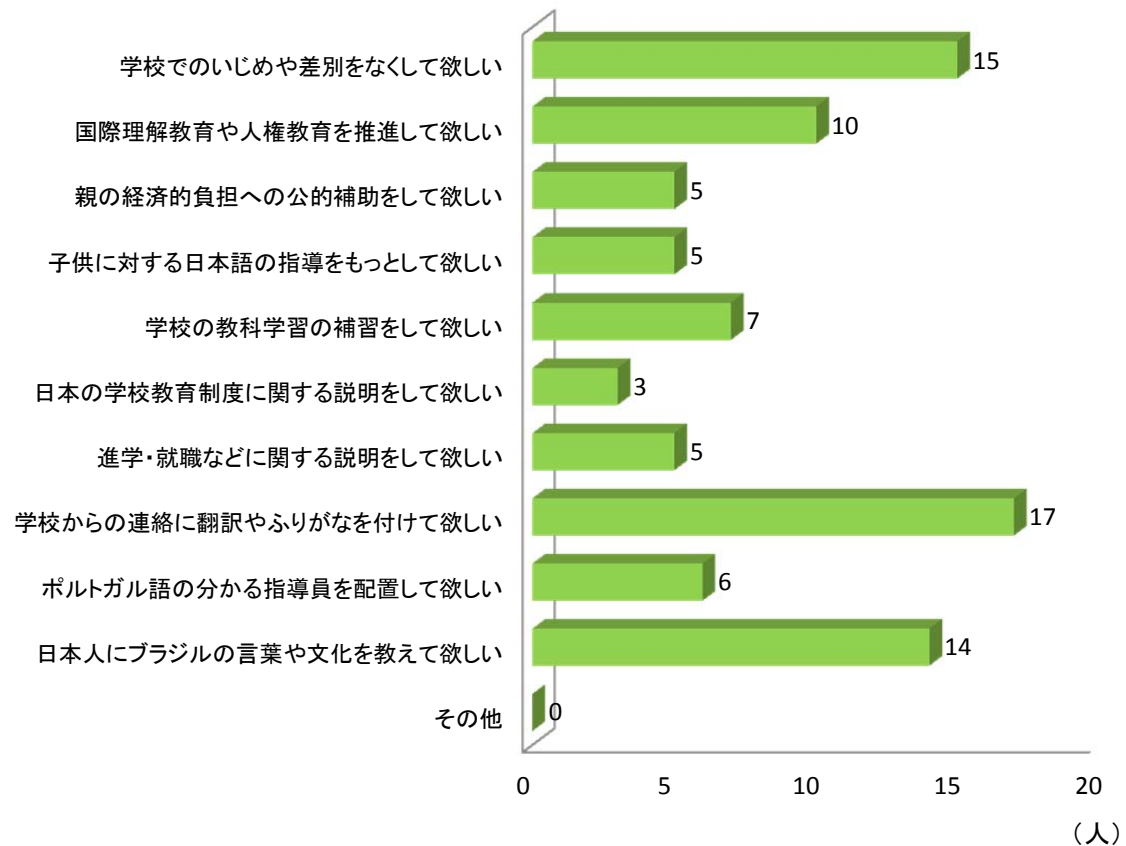
【8】子育て・子供の教育

子育てや子供の教育に関しては、「学校からの連絡が日本語であるため分からない」「日本人の友達ができない」「学校でいじめや差別を受けている」「授業についていけない」「日本人の保護者との交流が少ない」など、親の日本語能力やコミュニケーション上の問題、日本人との交流や相互理解の不足といった問題が大きく、学校に対して、これらの問題点の改善を求める要望が高い。また、子供へのポルトガル語教育は、家庭内だけに任される傾向にあるが、教育が必要だと思いながらも教育できていないという人も多い。

(57) 子供の教育や子育てのことで、困っていることは何ですか？ (N=28, 複数回答)

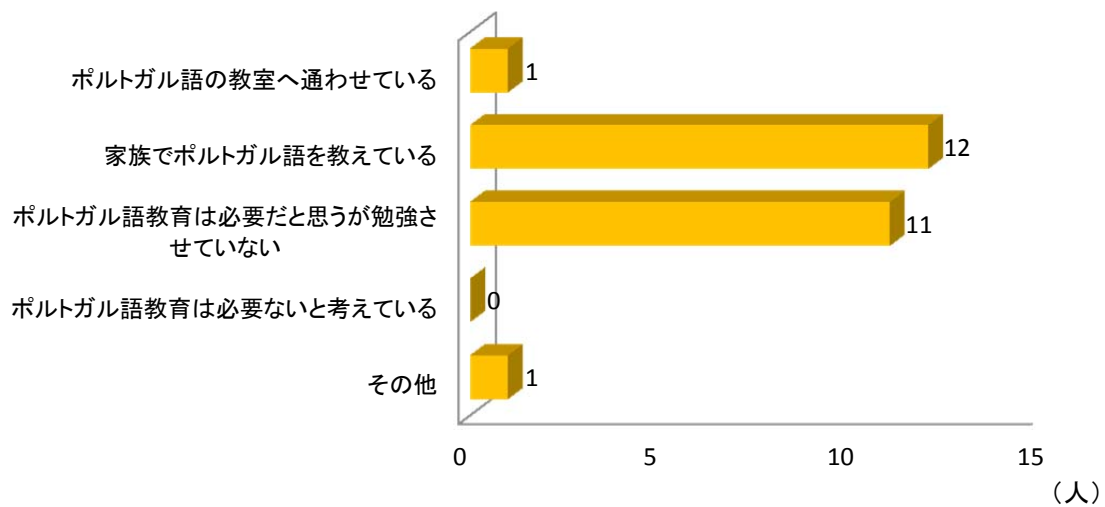


(58) 日本の学校に要望したいことはありますか？ (N=26, 複数回答)



(59) あなたの子供へのポルトガル語教育はどのようにしていますか？

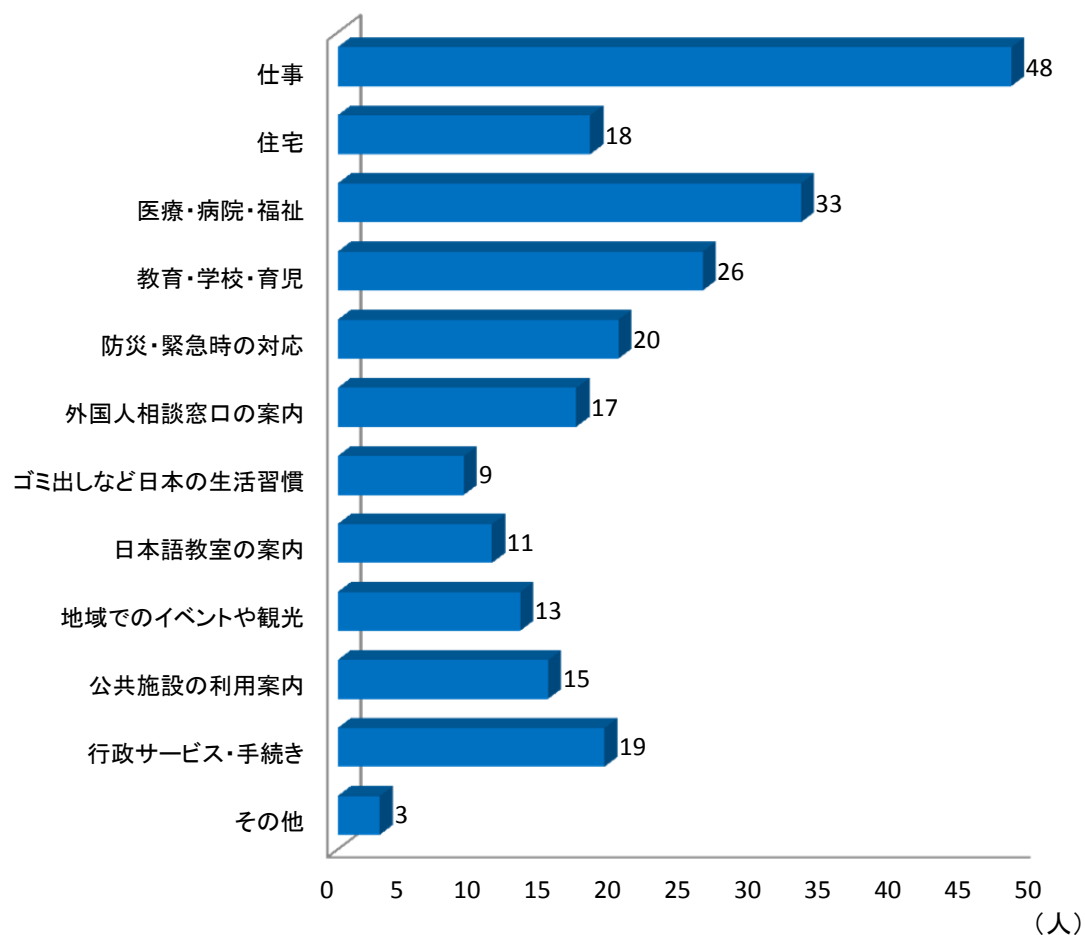
(N=24, 複数回答)



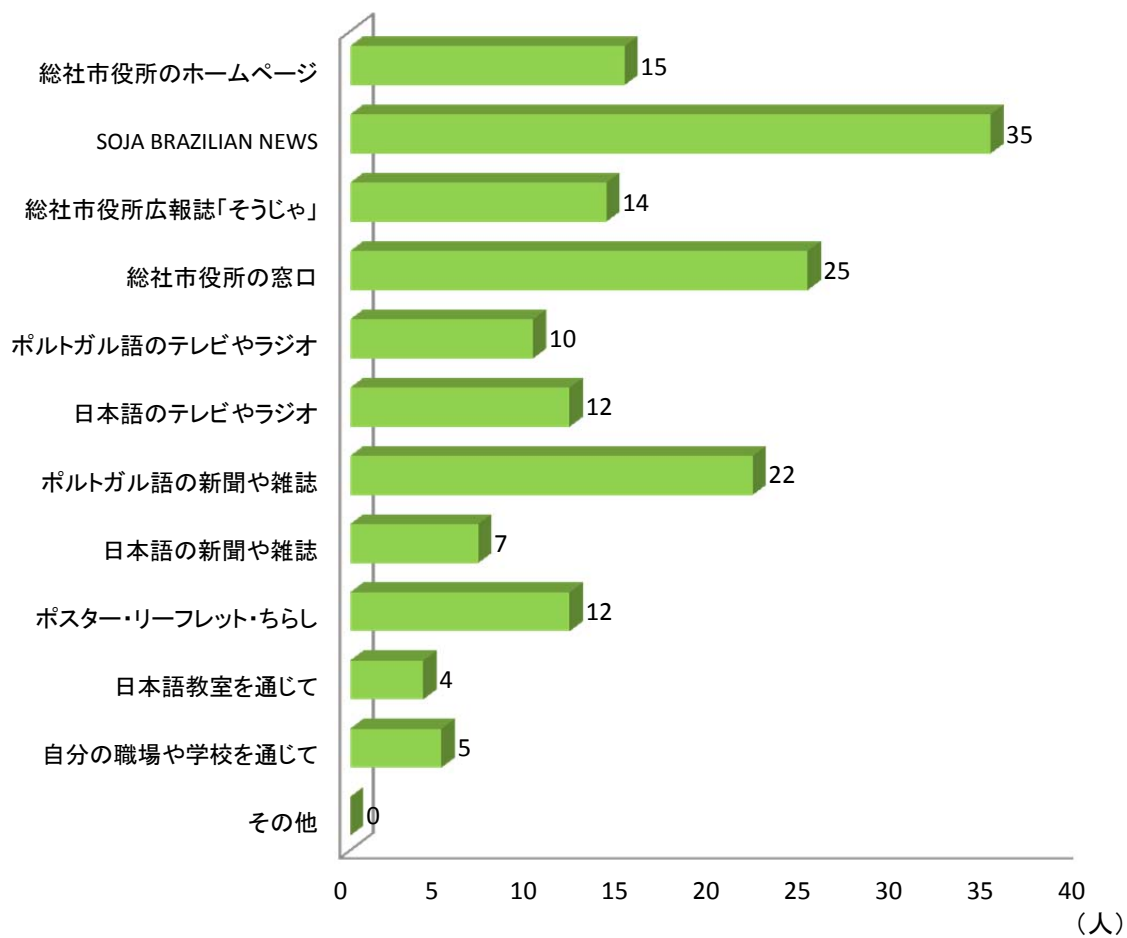
【9】 行政に対する要望

行政に提供して欲しい主な情報には、「仕事」「医療・病院・福祉」「教育・学校・育児」など、【7】で尋ねた生活上の悩みと同じ事項が上位に挙がる。これらの情報が、SOJA BRAZILIAN NEWS、ポルトガル語の新聞・雑誌、ブラジル人相談員がいる総社市役所の窓口など、ポルトガル語によって提供されることを要望している。また、外国人相談事業の充実、各種案内板への外国語表記追加、外国語図書が増加、子供への教育支援のほか、日本人との交流の機会を増やして欲しいといった地域社会との接点を求める声も聞かれる。

(60) 行政から提供してもらいたい情報は次のどれですか？ (N=63, 複数回答)

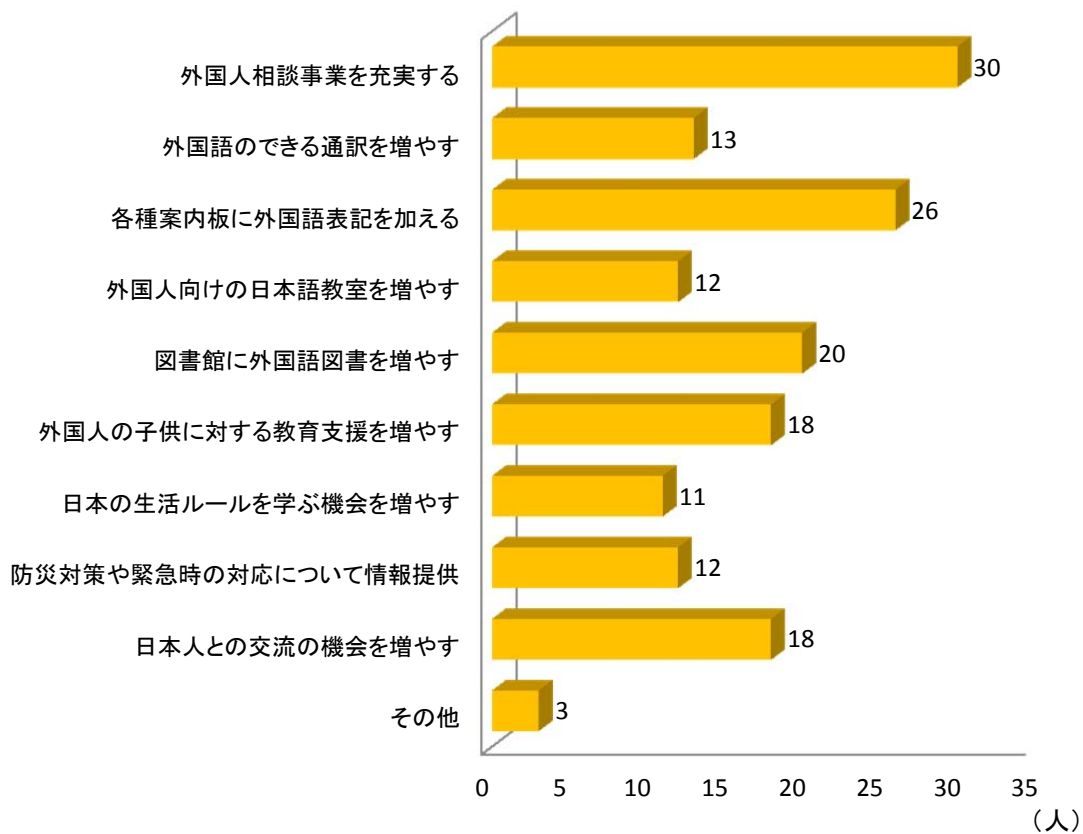


(61) 行政の情報をどのような手段で提供して欲しいですか？ (N=63, 複数回答)



(62) 外国語による行政サービスで充実させて欲しいものは次のどれですか？

(N=60, 複数回答)



(63) 地域に暮らす日本人や、行政に対しての要望があれば自由に書いてください。

- ・ブラジルと比べると、日本の役所は外国人を十分支援している。(53歳・男性)
- ・日本で働いても、65歳を過ぎると失業保険がもらえないし、年金制度を知らずにいたため、年金もきちんともらえていないので何とかして欲しい。(66歳・男性)
- ・日本の政府にはもっと強くあって欲しい。今の政府は、諸外国に比べて国民のために何もしておらず、もし、日本人である自分の祖父母が今の日本を見たら恥ずかしく思うだろう。でも、日本に来るチャンスがあって良かったと思っている。(66歳・女性)
- ・日本で生活していくうえで支援を受けていることに対し、感謝している。日本には日本製の製品が少ないことがっかりしている。もっと工場に働きかけて、外国人だけでなく日本人にも雇用の機会を増やし、日本製の製品を作るようにして欲しい。今、日本は景気の悪い状況が続いているので、日本製の製品を作るための工場をもっと作ることが大切だと思う。自分には子供が3人いるので、子供の将来を心配しているが、今の生活はとても厳しい。子供のためにも、かつて経済大国であった日本に戻って欲しい。私は総社に住むブラジル人として、今の総社市長には頑張っていて欲しいし、今後も引き続き、健康づくりや子育て、子供の教育、スポーツに関する市の活動に力を入れていて欲しいと思っている。(50歳・男性)
- ・今の総社市役所は、市民に対し、とても住みやすいまちづくりを考えてくれていていると思う。外国人としての権利もきちんとも認めてくれていている。(58歳・男性)
- ・人は皆、差別されることなく、平等な存在だ。(38歳・男性)
- ・総社市の外国人支援に対して感謝している。(36歳・男性)
- ・以前、「シルバー人材センター」で行われた緊急雇用プログラムを再開し、仕事のチャンスを与えて欲しい。(60歳・女性)
- ・高齢者に対して仕事のチャンスを与えて欲しい。(59歳・女性)
- ・どの子供にでも自分の国の文化や習慣があるので、お互いに尊敬し、理解し合わなければならぬと思う。(35歳・男性)

- ・差別がある。(23歳・女性)
- ・景気が悪くなると外国人をまず解雇する。外国人にも家族がいるので、日本人と平等に扱ってほしい。(49歳・男性)
- ・日本人が、自分たちと違って、閉鎖的であることは理解できる。だが、自分たちは祖父母が日本人であり、日本のために一生懸命頑張っているのだから、もっと自分たちのことを日本人たちに理解してほしい。(51歳・男性)
- ・景気が悪くなっても、日本人と平等に扱ってほしい。(46歳・女性)
- ・今までは税金が上がっても給料も上がっていたが、今は、給料は下がっても税金は上がってばかりいる。元通りにしてほしい。(53歳・男性)
- ・電話代や電気代などの請求書を、ポルトガル語でも表記してほしい。また、子供の算数や国語をボランティアで教えてくれる人を探している。もし見つければ、子供も学校へ行きたがるだろう。ブラジルの算数と日本の算数は、答えは同じだが、計算方法が違う。親である自分が子供に教えても、日本のやり方と違うのでつらい思いをしている。無料で教えてくれる人がいたらいいと思う。(53歳・女性)
- ・他の市役所では、遅くまで工場働く人のために、7時ごろまで開いているところがあると聞いた。総社市役所の国際交流部署にはいろいろな情報があると思うが、市役所に行きたくても、仕事を休まなければ行くことができない。もし市役所が、週1日か2週間に1日でも遅くまで開いていたら、もっと多くの外国人が助かると思う。健康診断などに行きたくても平日だと行けないので、土・日もやってほしい。(44歳・女性)
- ・ブラジル人という同じ国籍の人間でも、個人個人は別であることを日本人に分かってほしい。ブラジル人が悪いことをしたからといって、すべてのブラジル人が悪いという風には思っていない。(55歳・男性)
- ・総社市の外国人相談窓口は、いろいろな情報を持っていると思うが、平日は仕事があつて行くことができないので、できれば土・日も開けてほしい。他の市役所で、夜遅くまで開いていたり、土・日に開いているところがあると聞いている。(43歳・男性)

資料：ポルトガル語版調査票

Pesquisa sobre vida cotidiana e conhecimentos da linguagem japonesa dos residentes sul-americanos de Soja

Esta pesquisa é direcionada a todos os estrangeiros sul-americanos, brasileiros, peruanos, etc., com idade acima de 16 anos que vieram ao Japão e vivem na cidade de Soja, Província de Okayama.

Atualmente muitos estrangeiros sul-americanos que vivem no Japão enfrentam um grande problema para se comunicar em língua japonesa. Esta pesquisa tem como finalidade entender os problemas no contexto de vida em língua japonesa e com isso, pensar sobre alguma forma para melhorar a comunicação entre os japoneses e estrangeiros da região, além de ser utilizada para apoiar os estrangeiros e ajudar na administração de classes de língua japonesa na cidade de Soja.

Obrigada pela sua cooperação.

Janeiro de 2012

Yassue Nakato
Professora Associada da Universidade de Okayama
Membro administrativo de Classe de Língua Japonesa da Prefeitura de Soja

- * O questionário deve ser respondido por todas pessoas destinadas.
- * Não é necessário escrever o seu nome e endereço.
- * Fique tranquilo, pois as suas informações não serão utilizadas para outros fins a não ser para a pesquisa.
- * A caneta esferográfica em anexo é uma lembrança de agradecimento. Faça um bom uso.
- * Se tiver alguma dúvida sobre esta pesquisa, entre em contato com o seguinte órgão.
Prefeitura de Soja, Jinken Matizukuri-ka, TEL (0866) 92-8242 (português)

**Ao terminar de responder o questionário, coloque-o no envelope-resposta e envie de volta por remessa postal até dia 29 de fevereiro (quarta-feira).
(Não há necessidade de selar)**



40) Você participa dos eventos (festivais) da cidade de Soja?

1. Sim, muito 2. Às vezes 3. Nem tanto 4. Não

41) Você frequenta algum culto ou atividades de grupos religiosos, igreja, etc.?

1. Sim, muito 2. Às vezes 3. Nem tanto 4. Não

(Se você respondeu "1. **Sim, muito**" ou "2. **Às vezes**")

41-1) Em que idioma conversa com o pessoal da igreja ou do grupo religioso?

1. Só em português
2. Na maior parte em português
3. Metade em português e metade em japonês
4. Na maior parte em japonês
5. Só em japonês

[F] Informações sobre aprendizado de japonês

42) Qual é o seu **atual** nível de "**compreensão**" de japonês?

1. Entendo os noticiários da TV
2. Entendo mais ou menos a conversação do dia-a-dia
3. Entendo alguns vocabulários simples
4. Não consigo entender quase nada
5. Não consigo entender absolutamente nada

43) Qual é o seu **atual** nível de "**fluência verbal**" de japonês?

1. Consigo falar fluentemente
2. Conversação do dia-a-dia
3. Consigo falar vocabulários simples
4. Não consigo falar quase nada
5. Não consigo falar absolutamente nada

44) Qual é o seu **atual** nível de "**leitura**" de japonês?

1. Leio jornais e revistas
2. Leio frases incluindo "kanji" simples
3. Leio frases escritas em "hiragana" e "katakana"
4. Não consigo ler quase nada
5. Não consigo ler absolutamente nada

45) Qual é o seu **atual** nível de "**escrita**" de japonês?

1. Escrevo frases usando "kanji"
2. Escrevo frases contendo "kanji" simples
3. Escrevo frases em "hiragana" e "katakana"
4. Não consigo escrever quase nada
5. Não consigo escrever absolutamente nada

46) Você chegou a estudar japonês no Japão?

1. Sim 2. Não

47) Você está estudando japonês atualmente?

1. Sim 2. Não

→ (Se você respondeu "**1. Sim**")

47-1) Onde você estuda japonês?

1. Estudo sozinho
2. Classe de língua japonesa
3. Amigo/ conhecido japonês está me ensinando
4. Estou aprendendo com a minha família
5. No local onde trabalho
6. Outros []

47-2) Qual é a finalidade de você estudar japonês?

1. Para conseguir informações necessárias para se viver
2. Quero melhorar o meu japonês
3. Vou viver no Japão para sempre
4. Preciso usar japonês no serviço
5. Para buscar um emprego melhor
6. Quero construir um bom relacionamento com os japoneses
7. Outros []

48) Você sente necessidade de aprender japonês?

1. Sim, muito 2. Um pouco 3. Nem tanto 4. Não

49) Você pensa em estudar japonês no futuro?

1. Sim, com certeza 2. Se possível, sim 3. Não tanto 4. Não

50) Atualmente você frequenta classe de língua japonesa?

1. Sim
2. Já frequentei antes, mas agora não.
3. Nunca

→ (Se você respondeu "**3.Nunca**")

50-1) Porque não frequenta classes de línguas japonesas?

1. Não tenho tempo
2. O horário e dias de aula não combinam com o meu horário
3. Não sei onde há uma classe de língua japonesa
4. Tenho filho(s) pequeno(s)
5. Pretendo voltar ao Brasil em breve
6. Não preciso porque já sei o suficiente
7. Não tenho dificuldade para sobreviver mesmo não sabendo japonês
8. Outros []

↓ ↓
Siga para a página seguinte

Somente para quem respondeu “1. Sim”

50-2) Qual é a classe de língua japonesa que você frequenta?

1. da Prefeitura de Soja
2. do MOMOTARO
3. Outros []

50-3) Porque começou a frequentar a classe de língua japonesa?

1. Porque quero estudar japonês
2. Por necessidade de usar japonês
3. Por ser gratuito
4. Por ser perto de casa
5. Por recomendação do funcionário da Prefeitura
6. Por convite de amigo ou conhecido
7. Outros []

Somente para quem respondeu “2. Já frequentei antes, mas agora não”

50-4) Porque não frequenta as classes de línguas japonesas?

1. Não tenho tempo
2. O horário e dias de aula não combinam com o meu horário
3. Tenho filho(s) pequeno(s)
4. As aulas não são interessantes
5. Não consigo acompanhar as aulas
6. O método de ensino do professor não é bom
7. Não há progresso no meu japonês
8. Pretendo voltar ao Brasil em breve
9. Não preciso porque já sei o suficiente
10. Não tenho dificuldade para sobreviver mesmo não sabendo japonês
11. Outros []

51) Qual é o melhor dia (e horário) para você frequentar as classes de línguas japonesas, no caso da prefeitura de Soja abrir uma classe?

51-1) Dia da semana: 1. dias úteis 2. sábado 3. domingo 4. qualquer dia

51-2) Horário: 1. de manhã 2. à tarde 3. à noite 4. qualquer hora

52) Qual é a sua expectativa em relação à classe de língua japonesa?

1. Aumentassem os horários disponíveis para frequentar as aulas
2. Gostaria que ensinasse um japonês correto
3. Gostaria que ensinasse a cultura e os costumes do Japão
4. Gostaria de ter oportunidades de interagir com os japoneses
5. Gostaria de aprender com um professor que fale português
6. Gostaria que o curso fosse gratuito
7. Gostaria de aprender com um professor competente mesmo que precise pagar
8. Outros []

[G] Informações sobre a sua vida atual e futura

53) Quais são as preocupações ou ansiedades ao viver no Japão?

1. Trabalho/ renda
2. Moradia
3. Cuidados médicos/ hospital
4. Criação ou educação de filhos
5. Velhice
6. Não saber o idioma japonês
7. O relacionamento humano no trabalho
8. O relacionamento humano com os vizinhos
9. A discriminação ou preconceito por parte dos japoneses
10. A diferença cultural e conceito dos valores com os japoneses
11. A diferença de regras e estilo de vida japoneses
12. A maneira de lidar com desastres e emergências
13. Como obter informações para se viver
14. Outros []

54) Quem você consulta quando encontra alguma dificuldade no dia-a-dia?

1. Família/ parentes
2. Amigos ou conhecidos brasileiros
3. Amigos ou conhecidos japoneses
4. Pessoal onde trabalho
5. Pessoal da igreja onde frequento
6. Balcão de consulta aos estrangeiros da Prefeitura de Soja
7. Balcão de consulta aos estrangeiros do Governo da Província de Okayama
8. Outros []
9. Não tenho ninguém para me consultar

55) Qual é a principal fonte que você utiliza para se manter informado sobre fatos necessários para a vida?

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 1. Internet | 2. SOJA BRAZILIAN NEWS |
| 3. Website da Prefeitura de Soja | 4. Boletim Informativo SOJA da prefeitura em japonês |
| 5. TV ou rádio em português | 6. TV ou rádio em japonês |
| 7. Jornais ou revistas em português | 8. Jornais ou revistas em japonês |
| 9. Prefeitura de Soja | 10. Classes de línguas japonesas |
| 11. Igreja | 12. Local de trabalho ou escola onde frequento |
| 13. Outros [] | |

56) Você pretende continuar morando no Japão daqui para frente?

1. Pretendo fixar residência permanentemente no Japão
2. Pretendo regressar ao Brasil dentro de 3 anos
3. Pretendo regressar ao Brasil dentro de 10 anos
4. Pretendo ficar no Japão mais tempo possível e um dia regressar ao Brasil
5. Pretendo ir a um país que não seja o Brasil nem o Japão
6. Não sei
7. Outros []

↓
Siga para a página seguinte

59) Como você faz para ensinar português para a sua criança?

1. Frequenta classes de português
2. Nós da família lhe ensinamos português
3. Preciso ensinar português, mas não estou ensinando
4. Penso que não é necessário ensinar português
5. Outros []

[I] Expectativa em relação ao governo

60) Quais das seguintes informações você deseja que o governo lhe forneça?

1. Trabalho
2. Habitação
3. Cuidados médicos, hospital, bem-estar
4. Educação, escola, criação de filhos
5. Prevenção de desastres, medidas de emergência
6. Informações sobre locais de consulta para estrangeiros
7. Hábitos da vida diária como “maneira de jogar lixo”
8. Informações sobre classes de línguas japonesas
9. Eventos e turismo da região
10. Informações sobre uso das instalações públicas
11. Serviços administrativos e trâmites
12. Outros []

61) Através de que meio você deseja obter as informações administrativas?

- | | |
|------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. Website da Prefeitura de Soja | 2. SOJA BRAZILIAN NEWS |
| 3. Boletim Informativo SOJA da prefeitura em japonês | 4. Prefeitura de Soja |
| 5. TV ou rádio em português | 6. TV ou rádio em japonês |
| 7. Jornais ou revistas em português | 8. Jornais ou revistas em japonês |
| 9. Cartazes, panfletos ou folhetos | 10. Classes de línguas japonesas |
| 11. Local de trabalho ou escola onde frequento | |
| 12. Outros [] | |

62) Quais dos seguintes serviços administrativos oferecidos em língua estrangeira você deseja que enriqueça?

1. O serviço de consultoria para estrangeiros
2. Aumento de intérpretes em língua estrangeira
3. Adicionar escritas em línguas estrangeiras nas placas informativas
4. Aumento de classes de língua japonesa para estrangeiros
5. Aumento de livros de língua estrangeira na biblioteca
6. Aumento de apoio ao ensino para crianças estrangeiras
7. Aumento de oportunidade para os estrangeiros residentes aprenderem as regras de vida no Japão
8. Fornecimento das informações sobre medidas de prevenção contra desastres e nas ocasiões de emergência para os estrangeiros
9. Aumento de oportunidade de intercâmbio entre japoneses e estrangeiros
10. Outros []

63) Espaço livre para deixar registrado os seus anseios em relação ao governo ou japoneses.

[]

Final do questionário. Muito obrigada pela sua colaboração.

**Coloque o questionário no envelope-resposta
e envie de volta por remessa postal
até dia 29 de fevereiro (quarta-feira).
(Não há necessidade de selar)**

総社市における南米系定住外国人の
言語生活実態調査報告書

平成 24 (2012) 年 7 月

編集・発行：総社市 市民環境部

人権・まちづくり課 国際・交流推進係

〒719-1192 岡山県総社市中央一丁目 1 番 1 号

電話：(0866) 92-8242 FAX：(0866) 93-9479

E-mail：jinken-machi@city.soja.okayama.jp

URL：http://www.city.soja.okayama.jp/
